

令和4年度  
教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検並びに評価  
報告書



令和5年9月  
阿賀野市教育委員会



## はじめに

---

阿賀野市教育委員会においては、総合教育会議の開催や4年間（令和3年度から令和6年度まで）にわたる教育大綱の策定、さらに第3次教育振興基本計画を策定しています。

人口減少社会の到来に伴う就学・就業構造の変化や、技術革新・グローバル化の一層の進展、家庭の経済状況による教育格差の拡大など、子どもを取り巻く環境が大きく変化し、教育に求められる役割はますます増大しています。

阿賀野市においては、教育の基本理念を「ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育」とし、本市が持続可能なまちとして発展していくための教育の在り方を示しています。「まちづくりは人づくり」という考えに立ち、主体的に判断し、粘り強く問題解決に取り組む力(自立)・多様な人々と対話し、問題を解決する力(協働)・新しい価値を生み出す力(創造)を育てたい資質・能力として教育を推進していきます。

令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の影響は継続し、5月に大規模なクラスターの発生や多くの小学校で運動会が予定どおり行えなかったことなど、年間を通し学級、学年閉鎖又は学校臨時休業等の措置を実施せざるを得ない状況が時折発生しました。

I C T教育においては、児童生徒1人1台のタブレット端末の活用が定着し、時代に即した情報教育環境の下授業が行われました。これに伴い児童生徒にI C T環境を活用する能力が身に付いていることが、アンケート結果からもうかがえました。

施設整備においては、笹神中学校の屋内体育館長寿命化改良工事、グラウンドの改修工事を実施し、施設の環境整備を整えました。

小学校の再編整備において、分田小学校では伝統校の締めくくりを有意義なものにしようと、地域の方々とともに力を合わせて各種の閉校記念行事を実施しました。12月4日（日）に閉校記念式典が関係者多数出席の下、盛大に開催され、堀越小学校への統合の準備が整いました。

また、安田幼稚園においても少子化による園児の減少が著しく閉園が決定し、3月5日（日）に閉園記念式典を実施、3月31日をもって57年間の歴史に幕を下ろしました。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、事務の管理及び執行状況を点検・評価し公表するものです。一層堅実な教育施策の展開を目指し、学校教育と社会教育の緊密な連携や生涯学習の充実を図ってまいります。学校・家庭・地域の連携と協働に向けて、市議会や市民の皆さまの一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いし、刊行のことばといたします。

令和5年9月 阿賀野市教育委員会



# 目 次

<b>阿賀野市教育振興基本計画【概要版】</b> .....	<b>1</b>
阿賀野市教育委員会組織図 .....	2
<b>第 1 章 教育委員会の会議及び委員の主な活動</b> .....	<b>3</b>
第 1 節 会議等による方針決定とその対応 .....	3
第 1 項 教育委員会の定例会・協議会での議論 .....	3
第 2 項 教育委員会連合会・連合協議会への参画 .....	4
第 3 項 市長部局及び議会への対応 .....	4
第 2 節 その他の主な活動 .....	5
第 1 項 学校訪問（教育施設視察）の実施 .....	5
第 2 項 入学式・卒業式・各種行事 .....	5
第 3 項 教職員人事への対応 .....	6
第 4 項 計画の策定 .....	6
第 5 項 小学校再編整備の検討 .....	6
第 6 項 学校施設の耐震化や大規模改修事業から長寿命化事業へ .....	7
第 7 項 新型コロナウイルス感染症他への対応 .....	7
第 3 節 今後に向けて ～教育委員会活動の評価～ .....	8
教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する規則 抜粋他 .....	10
<b>第 2 章 教育委員会の事務管理・執行状況並びに評価</b> .....	<b>11</b>
令和 4 年度の評価 [阿賀野市教育振興基本計画と市総合計画成果指標による評価] .....	12
第 1 節 I 個性や能力を伸ばす学校教育の推進（学校教育課） .....	15
第 1 項 教職員配置・各種学校支援事業等に関する事 .....	15
第 2 項 研修に関する事 .....	21
第 3 項 学校給食に関する事 .....	22
学校教育施策の課題と対応 個性や能力を伸ばす学校教育の推進（教育センター） .....	23
第 4 項 学力の向上と学習・生活習慣の改善 .....	24
第 5 項 児童生徒の体格・体力の状況 .....	27
第 6 項 生徒指導について ～いじめ・不登校の解消推進～ .....	32
第 7 項 特別支援教育の充実 .....	34
第 8 項 快適な学習・生活環境整備及び長寿命化の推進 .....	35
第 2 節 II 人生を豊かにする生涯学習の推進（生涯学習課） .....	36
第 1 項 社会教育・公民館に関する事 .....	36
第 2 項 図書館事業に関する事 .....	40
第 3 項 スポーツに関する事 .....	45
第 4 項 文化財の保護に関する事 .....	48
生涯教育施策の課題と対応 人生を豊かにする生涯学習の推進（生涯学習課） .....	53
第 5 項 生涯学習振興行政の推進について .....	54
第 6 項 生涯学習課施設の整備・再編 .....	55
第 7 項 歴史・文化の資源化 .....	56
第 3 節 III 地域協働による活動の推進（学校教育課・生涯学習課） .....	57
第 1 項 地域協働・連携に関する事 .....	57
第 2 項 学校の地域連携に関する事 .....	59
第 3 項 青少年育成センターに関する事 .....	60

第4節 IV安全・安心な教育環境づくりの推進（学校教育課）	61
第1項 安心して学べる学校づくりに関する事	61
第2項 快適な教育環境・施設設備等の整備に関する事	62
第3項 学校等の環境衛生に関する事	62
第4項 児童生徒の安全確保及び就学支援等に関する事	63
<b>第3章 総括（まとめ）</b>	<b>67</b>
懇談要旨	67
教育委員による所感	68

教育の基本理念

ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育

《育てたい資質・能力》

- 自立・・・主体的に判断し、粘り強く問題解決に取り組む力
- 協働・・・多様な人々と対話し、問題を解決する力
- 創造・・・新しい価値を生み出す力



4つの基本方針

I 個性や能力を伸ばす学校教育の推進

- 1 確かな学力の育成**
  - 授業改善の推進（「主体的・対話的で深い学び」の実現）
  - 学習習慣の確立
  - 豊かな学びの基礎を培う幼児教育の充実
- 2 豊かな人間性や健康でたくましい心身の育成**
  - いじめや不登校を生まない学校づくり
  - 思いやりの心と命を大切にす道徳教育
  - 健やかな体の育成
- 3 一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援の充実**
  - 関係機関との連携による一貫した支援
  - 全校体制による特別支援教育の推進
  - 教職員の資質・専門性の向上
- 4 グローバル化・ICT化に対応した教育の推進**
  - 英語力向上の取組
  - パソコンやタブレットの積極的な活用

II 人生を豊かにする生涯学習の推進

- 1 生涯にわたって学ぶ場とその成果を社会に生かす機会の充実**
  - 多様な学びの場の充実と学習支援
  - 学習機会や実践活動の充実
- 2 豊かな地域文化の創造・発展と担い手の育成**
  - 文化財の保護・活用
  - 地域文化を継承する人材の育成
- 3 健康でうらおいのある市民生活に向けた芸術・文化・スポーツの振興と拡充**
  - 芸術・文化活動の充実
  - スポーツに触れ合う機会の提供

III 地域協働による活動の推進

- 1 地域の産業・文化・伝統の学びを通じた阿賀野市を愛する心の育成**
  - 学校・家庭・地域の協力体制づくり
  - 地域学習の推進
- 2 家庭・地域と連携した学校づくりの推進**
  - 社会に開かれた教育課程の推進
  - 学校・地域との連携によるキャリア教育の推進
- 3 多様な体験活動や他者との関わりを通じた、心豊かで思いやりのある健全な青少年の育成**
  - 家庭の教育力の向上
  - 地域の教育力の向上
  - 健全な環境の整備

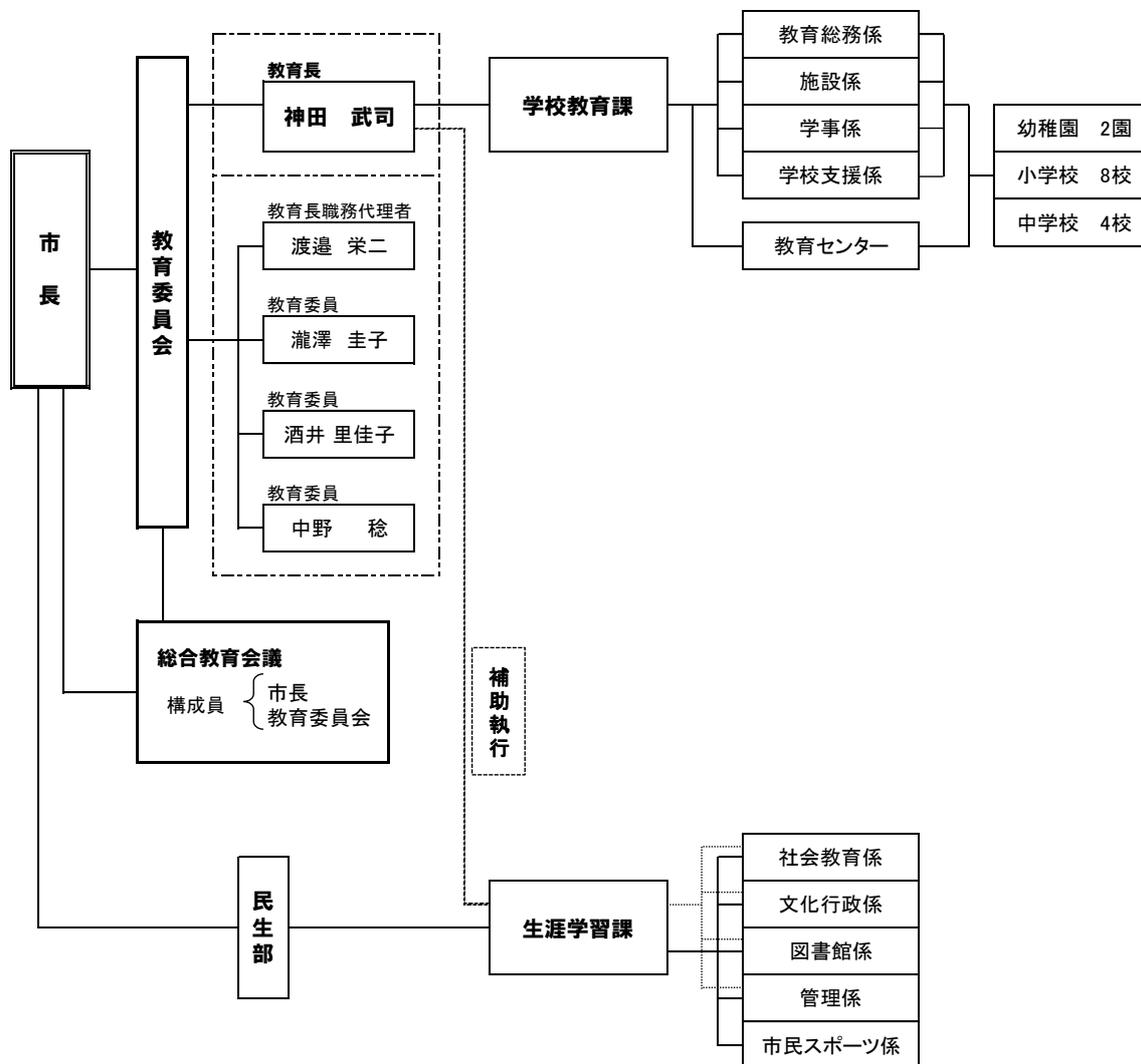
IV 安全・安心な教育環境づくりの推進

- 1 児童生徒が安心して学べる学校づくりの推進**
  - 「いじめ防止対策推進法」に基づいた取組
  - 相談支援体制の充実
- 2 自分の命を守る防災教育等の充実**
  - 「防災教育プログラム」を活用した防災教育の推進
  - 「学校安全計画」に基づく安全教育の推進
- 3 安全・安心で快適な教育環境の整備・充実**
  - 学校施設の整備と機能向上
  - 通学環境の安全確保
  - 経済負担の軽減

# 阿賀野市教育委員会組織図

【阿賀野市教育委員会組織図】

令和5年3月31日現在



## 各施設明細

学校教育課施設		生涯学習課施設		
◆ 幼稚園 1 安田幼稚園 2 認定こども園京ヶ瀬幼稚園	◆ 中学校 1 安田中学校 2 京ヶ瀬中学校 3 水原中学校 4 笹神中学校	◆ 公民館 1 ふれあい会館 2 安田公民館 3 京ヶ瀬公民館 4 水原公民館	◆ 体育館 1 安田体育館 2 京ヶ瀬体育館 3 水原総合体育館 4 笹神体育館 5 大和体育館(旧大和小学校) 6 前山体育館(旧前山小学校) 7 山手体育館(旧山手小学校)	◆ 体験施設 1 五頭連峰少年自然の家 2 城ノ内陶芸スタジオ
◆ 小学校 1 安田小学校 2 京ヶ瀬小学校 3 分田小学校 4 堀越小学校 5 水原小学校 6 安野小学校 7 笹岡小学校 8 神山小学校	◆ 給食センター 1 安田学校給食センター	◆ 博物館・郷土資料館 1 吉田東伍記念博物館 2 歴史民俗資料館	◆ 社会体育施設 1 安田B&G海洋センター 2 城ノ内野球場 3 安田橋運動公園[第1野球場] 4 安田橋運動公園[第2野球場] 5 安田橋多目的運動広場 6 水原野球場 7 城ノ内テニスコート 8 水原テニスコート 9 京ヶ瀬小学校屋外運動場照明施設 10 大和グラウンド(旧大和小学校) 11 水原ゲートボール場	◆ 屋内運動場 1 立川記念屋内球技練習場 2 京ヶ瀬屋内運動場 3 水原屋内運動場 4 笹神屋内運動場
	◆ 適応指導教室 1 白鳥ルーム	◆ 図書館 1 市立図書館 2 安田図書館 3 水原中学校市民図書室 4 笹神図書館		

## 第 1 章 教育委員会の会議及び委員の主な活動

「教育委員会」という表記は、教育長と 4 人の教育委員で構成される合議制の教育委員会を指す場合と、事務局である学校教育課と生涯学習課を含めた教育委員会組織全体を指す場合があります。

この章では、前者の合議制の教育委員会活動を中心に、令和 4 年度の対応と評価について報告します。

合議制の教育委員会は、月 1 回の定例会のほか、必要に応じて審議や意見交換などを行う臨時会・協議会を開催し、教育行政の基本方針や重要施策、具体的な事業・方針などを決定しています。この決定を受けて、教育委員会事務局では、職員がさまざまな事務を執行するとともに、管理指導主事や教育センターの教育指導主事などが学校現場への指導・支援を行い、各種事業を具体的に推進しています。

### 第 1 節 会議等による方針決定とその対応

#### 第 1 項 教育委員会の定例会・協議会での議論

阿賀野市教育長に対する事務の委任等に関する規則第 1 条に掲げる項目や関連事業については、時間をかけて審議を行い、承認などの決定を行いました。

具体的には、総合計画を踏まえ、教育委員会に属する附属機関の委員委嘱・任命や、教育予算その他議会の議決を経るべき議案の意見の申し出、教育委員会規則等の制定・改廃などについて慎重審議を行い、教育委員会としての具体的な方策や今後の方向性を示しました。この他、複雑化・多様化する教育課題に対応するため、児童生徒の安全の確保や学力の向上、就学援助費受給申請の認定、共催・後援の承諾、児童生徒・教職員の事故報告に対する対応策、学校現場の支援方策、給食調理業務の合理化、小中学校における ICT 環境の整備、学校施設の長寿命化等も審議し、阿賀野市の教育行政の進展に努めました。

会議名	開催回数	議案件数	報告件数	協議件数	委員出席率
定例会	12 回	46 件	29 件		98.0%
協議会	5 回			9 件	100.0%

※「議案件数」＝議件簿に掲載し、議案として審議した件数

※「報告件数」＝教育施策に関する報告や情報を提供した件数

※「協議件数」＝重要課題等に対する今後の対応や進め方を協議した件数



教育委員会定例会

## 第2項 教育委員会連合会・連合協議会への参画

教育委員会では、県内各市町村の教育委員会と相互の連絡を密にし、協力して教育問題の研究や教育行政の推進を図ることを目的に、例年、新潟県市町村教育委員会連合会や三市北蒲原郡教育委員会連合協議会の総会・研修会へ積極的に参加してきました。

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面協議他縮小開催となりました。

期 日	内 容
5月	三市北蒲原郡教育委員会連合協議会定期総会（書面協議）
7月	新潟県市町村教育委員会連合会総会（書面協議）研修会（中止）
11月7日（月）	三市北蒲原郡教育委員会連合協議会研修会（新発田市）

## 第3項 市長部局及び議会への対応

財政権限を有しない教育委員会にとって、市の政策に教育施策をどのように反映していくのか、議会の理解をどのように得ていくのかは、共に重要な事項です。

市長部局に対しては、学校現場への支援継続やICT環境の整備、学校施設の長寿命化、就学援助費支給の充実など、緊密な連携を保ちながら施策を推進してきました。

市長が招集する「総合教育会議」においては、子どもたちの家庭環境と部活動の地域移行について意見を交換しました。

議会に対しては、総務文教常任委員会・社会厚生常任委員会を中心に、教育施策の方針や課題、その対応策を説明するとともに、必要に応じて現地視察を実施し、実情を把握していただきました。

今後とも、市長部局や議会に対し、困難な教育課題や教育施策の中長期的な展望、案件の持つ特殊事情などを遅滞なく詳細に説明を行った上で理解を求めていくこと、学校現場や生涯学習活動の様子・事情を率直に伝えていくことが求められています。

## 第2節 その他の主な活動

### 第1項 学校訪問（教育施設視察）の実施

学校訪問は、教育現場において園児児童生徒や教職員の様子を直接見ることができる有意義な時間であることから、令和4年度も管内全ての学校等で実施しました。

学校訪問では、授業担当者の新たな試み・指導方法改善による学力向上策や、特別な支援が必要な園児児童生徒に対するきめ細やかな対応策などを視察しました。

この訪問では、教育委員がただ単に授業を視察するだけでなく、給食や学校施設の現状を把握するとともに、校長や教頭等と懇談し、教育現場の生の声等を聴くことができる貴重な機会と捉えています。

期 日	内 容
6月28日（火）	学校訪問（安田幼稚園、安田中学校、安田小学校）
7月5日（火）	学校訪問（水原中学校、すぎの子児童クラブ、水原小学校）
7月12日（火）	学校訪問（安野小学校、分田小学校、堀越小学校）
10月18日（火）	学校訪問（笹岡小学校、笹神中学校、神山小学校）
10月27日（木）	学校訪問（京ヶ瀬幼稚園、京ヶ瀬中学校、京ヶ瀬小学校）

### 第2項 入学式・卒業式・各種行事

例年、幼稚園の入園式や小中学校の入学式のほか、幼稚園・小学校の運動会、中学校の体育祭、小学校親善陸上大会、小中学校音楽祭などの各種学校行事や、生涯学習行事に広く出席していましたが、令和3年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、多くの行事が中止や規模縮小となり出席できませんでした。

期 日	内 容
7月22日（金）	第1回総合教育会議
9月23日（土）24日（日）	子ども科学展
11月3日（木）	市功労賞者表彰式
11月24日（木）	第2回総合教育会議
12月4日（日）	阿賀野市立分田小学校閉校記念式典
令和5年3月5日（日）	阿賀野市立安田幼稚園閉園記念式典

### 第3項 教職員人事への対応

小中学校や教育機関の管理職人事を承認し、県費負担の転入・退職転出教職員や市費負担の教育委員会職員に対して辞令交付を行いました。

期 日	内 容
4月1日(金)	学校教職員・教育委員会職員辞令交付式
2月21日(火)	小中学校管理職の人事異動の承認
3月30日(水)	学校教職員・教育委員会職員退職者並びに転出者辞令交付式

### 第4項 計画の策定

将来の児童生徒数を見据え、今後の給食センターの活用の指針となる阿賀野市学校給食運営再編計画については、京ヶ瀬小学校改修工事設計に伴う再検討を行い、議会全員協議会並びに市教育委員会への説明を経て、変更計画策定を行いました。

策定期期	内 容	計画年度
令和2年6月	阿賀野市小中学校 ICT 活用計画	令和2年度(2020)～令和5年度(2023)
令和3年3月	阿賀野市教育大綱	令和3年度(2021)～令和6年度(2024)
令和3年3月	阿賀野市教育振興基本計画(第3期)	令和3年度(2021)～令和6年度(2024)
令和4年7月 令和5年2月改訂	阿賀野市学校給食運営再編計画	令和4年度(2022)～令和8年度(2026)

### 第5項 小学校再編整備の検討

教育委員会では、平成17年度に策定した第1次再編整備計画である小学校14校整備計画に基づき、平成20年4月に駒林小学校を京ヶ瀬小学校へ、平成21年4月に大和小学校と寺社小学校を保田小学校へ統合しました。

その成果やさらに進展する児童数の減少傾向を踏まえ、平成23年度に第2次再編整備計画である小学校11校整備計画を策定しました。市長部局と意見交換を行いながら計画を推進し、平成26年4月に前山小学校を京ヶ瀬小学校へ統合しました。

整備方針については、一旦棚上げし白紙に戻しましたが、安田地区の地域住民の皆さんの意見を踏まえ、平成29年4月に山手小学校と赤坂小学校を保田小学校へ統合し、校名を安田小学校に改称しました。

また、令和3年度に今後の分田小学校について保護者や地域住民と話し合い、結果を受け令和4年度に交流事業等を進め、令和5年4月に分田小学校を堀越小学校へ統合しました。更に安田幼稚園についても、令和5年3月に閉園し一気に再編が加速しました。

教育委員会としては、引き続き児童の減少傾向、保護者や地域の意見を聴きながら今後の学校再編整備の在り方について、慎重かつ多面的に検討していくこととしています。

## 第6項 学校施設の耐震化や大規模改修事業から長寿命化事業へ

学校施設においては、平成27年度に小中学校の耐震化を完了した後、大規模改修事業として、老朽施設の改修や環境改善をこれまで推進してきました。

しかし、施設整備の基本方針として、阿賀野市公共施設等総合管理計画に基づき、学校施設を含む非木造建築物の使用期間が80年を目標とすることになったため、これまでの事後保全から不具合を未然に防止する予防保全の考えを取り入れ、コストを抑えながら建て替えと同等の教育環境を確保する長寿命化事業を令和元年度から進めることになりました。令和4年度は、長寿命化改修事業として笹神中学校の屋内体育館及びグラウンドの改修工事を行い、京ヶ瀬小学校の長寿命化等設計業務委託を発注しました。



笹神中学校  
屋内体育館

笹神中学校長寿命化改良工事



笹神中学校  
グラウンド

笹神中学校屋外教育環境施設整備工事

## 第7項 新型コロナウイルス感染症他の対応

阿賀野市立小中学校の臨時休業、学級・学年閉鎖 [学校別集計]

学校	臨時休業	学年・学級閉鎖	措置総数
安田小学校	1 (R4.5.13~16)	23	24
京ヶ瀬小学校	1 (R4.5.18~22)	10	11
分田小学校	-	2	2
堀越小学校	-	8	8
水原小学校	-	22	22
安野小学校	-	13	13
笹岡小学校	-	7	7
神山小学校	-	1	1
安田中学校	-	6	6
京ヶ瀬中学校	-	4	4
水原中学校	1 (R4.10.30~11.3)	13	14
笹神中学校	-	5	5
	3	114	117

記事	記事
全小学校でプール授業再開 ＜ その他の休業 ＞	運動会（小学校は8校中6校が日程変更）・体育祭・合唱祭実施

期日	内容
令和5年1月25日（水）	暴風雪により市内全校 臨時休業

### 第3節 今後に向けて ～教育委員会活動の評価～

---

令和4年度の教育委員会活動の一年を振り返ると、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に大きな事務負担を強いられる状況が継続したことが挙げられます。年度中に第6波、第7波、第8波に見舞われ、児童生徒1,208人が感染しました。感染の多くは、経路不明や家庭内感染によるもので、5月には小学校で大規模のクラスターが発生しましたが、臨時休業、学年閉鎖、学級閉鎖を実施し、学校現場における拡大は抑えることができました。例年5月に実施される小学校の運動会への影響もありましたが、日程を変更して実施しました。(資料参照 1章2節7項P7)

また、このような中でも学びを止めないようGIGAスクール構想で整備した、児童生徒1人1台のタブレット端末等のICT機器を活用した教育も定着し、各学校において教室での授業や校外活動などで積極的な活用が推進され、時代に即した情報教育環境の下、教育が行われました。(資料参照 2章1節1項P20)

施設整備においては、笹神中学校の屋内体育館長寿命化改良工事、グラウンドの改修工事を実施し、施設の環境整備を整えました。(資料参照 2章4節1項P62, P7)

小学校の再編整備においては、分田小学校の堀越小学区への統合準備が進められ、地域の方々とともに力を合わせて各種の閉校記念行事を実施しました。12月4日(日)に閉校記念式典が関係者多数出席の下、盛大に開催され、統合の準備が整いました。

また、安田幼稚園についても園児の減少が著しく閉園の準備が進められ、3月5日(日)に閉園記念式典を実施し、3月31日(金)をもって57年間の歴史に幕を下ろしました。

個別の事業では、引き続き生涯学習課が担当する「放課後スクール」「温故塾」など児童生徒の学習支援事業を実施しました。(資料参照 2章3節1項P58)

英語教育の施策については、新学習指導要領で小学校に外国語活動・外国語科(英語)の導入や急速に進展する社会のグローバル化の対応策として、塾のコンビニ事業「英語塾」や英語教育充実のため各学校においてイングリッシュディとして複数のALTと触れ合う機会やコロナ禍で規模は縮小しましたがイングリッシュキャンプを実施するなど一層の充実に努めました。(資料参照 2章1節1項P17)

広島平和記念式典中学生派遣事業については、3年ぶりに生徒を派遣することができ、前回派遣した令和元年度に比べ各校1人増の計12人の派遣を実施し、事業の拡充を図りました。市内中学校生徒が作製した折り鶴を平和記念公園へ奉納・慰霊碑へ献花し、原爆被害の悲惨さや核兵器廃絶と平和の尊さを考える機会となりました。(資料参照 P52)

教育委員会活動の課題として、学校教育課では、学力の向上や生徒指導、特別支援教育の充実、子どもたちの安全・安心、通学バスの運行、教育施設の老朽化への対応はも

とより、G I G Aスクール構想による I C T教育の推進、地域との連携による子どもたち・教職員・保護者・地域住民の皆さんがそれぞれ元気になれる双方向の学校支援体制の構築、教職員の働き方改革なども大きな課題となっています。

生涯学習課では、組織改編と連動する形で、平成 25 年度から市長部局に位置付けられてきましたが、社会教育や青少年育成、文化財、図書館などの分野に関しては、教育委員会所管事務として担当する職員を教育委員会に兼務発令し、学校教育課との連携を深めつつ、より充実した教育施策の実施に努めてきました。各地区の体育館や公民館、図書館、五頭連峰少年自然の家、博物館・資料館等の教育関連施設では、維持管理や改修、運営の活性化など、数多くの問題や課題が存在し、その対応が求められています。

教育委員個々の考えを含め、巻末の懇談録や教育委員の所感もご覧いただき、教育委員会の今後について参考としていただければ幸いです。

## 教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する規則 抜粋

(趣旨) (平成 21 年 教育委員会規則第 5 号)

第 1 条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号。以下「法」という。）第 26 条の規定に基づき、阿賀野市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象及び時期)

第 2 条 点検及び評価の対象は、第 21 条各号に掲げる事務及び教育施策上の課題等とする。

2 点検及び評価は、毎年度、前項に規定する事項について行うものとする。

(資料の整理等)

第 3 条 点検及び評価に資するため、事務局（第 17 条に定める事務局をいう。以下同じ。）

は、前条第 1 項に規定する事項について、必要な資料を整理する。

(点検及び評価に係る会議等)

第 4 条 点検及び評価を行うため、教育委員会は、阿賀野市教育委員会会議規則（平成 16 年阿賀野市教育委員会規則第 3 号）第 9 条に規定する協議会を開催する。

2 法第 26 条第 2 項に定める学識経験者の知見を活用するため、教育委員会は前項に規定する協議会に、学識経験者の出席を求める。

(議会報告等)

第 5 条 教育委員会は、協議会の検討を踏まえ、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを阿賀野市議会に提出するとともに、公表する。

## 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 抜粋

第 21 条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

- (1) 教育委員会の所管に属する第 30 条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、管理及び廃止に関すること。
- (2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関すること。
- (3) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
- (5) 教育委員会の所管に属する学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- (7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。
- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。
- (10) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- (11) 学校給食に関すること。
- (12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- (13) スポーツに関すること。
- (14) 文化財の保護に関すること。
- (15) ユネスコ活動に関すること。
- (16) 教育に関する法人に関すること。
- (17) 教育に係る調査及び基幹統計その他統計に関すること。
- (18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。 (平成 20 年 4 月 1 日適用) (令和 2 年 3 月 31 日一部改正法律第 11 号)

## 第 2 章 教育委員会の事務管理及び執行状況並びに評価

---

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条各号に掲げられている事項のうち、阿賀野市教育振興基本計画に基づき、報告対象年度に実施した主な事業を対象として整理・点検を行いました。

指標は、阿賀野市総合計画に掲げた所管課の成果指標を用いて、目標達成度を評価としています。（阿賀野市総合計画の評価結果は「阿賀野市まちづくり報告書」にて公表）

<阿賀野市総合計画> まちづくりの目標「元気で 明るく 活力のある魅力的なまち」

阿賀野市総合計画（平成 28 年 3 月策定）

基本構想 : 平成 28 年度～令和 6 年度

前期:基本計画 2016-2020 （平成 28 年 3 月策定）

実施計画期間：平成 28 年度～令和 2 年度(2016-2020)

後期:基本計画 2021-2024 （令和 3 年 3 月策定）

実施計画期間：令和 3 年度～令和 6 年度(2021-2024)

<阿賀野市教育振興基本計画 等>

阿賀野市教育振興基本計画（第 2 期）

実施計画期間：平成 28 年度～令和 2 年度

基本理念「自立・信頼・共生が拓く、私たちの未来・ふるさとの未来」

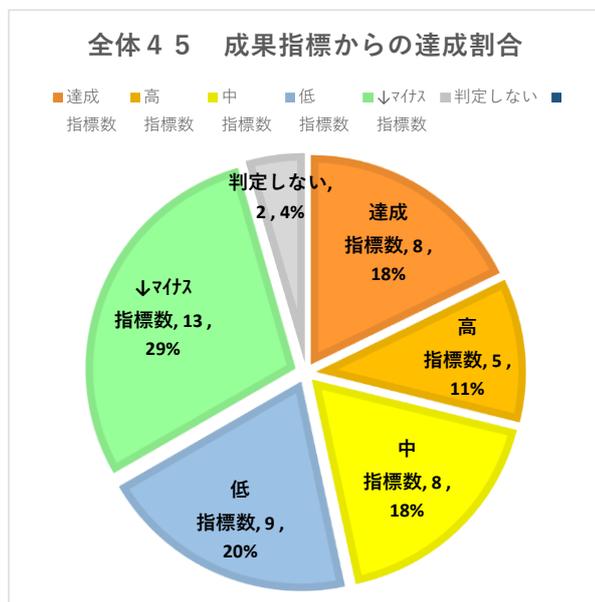
阿賀野市教育大綱、

阿賀野市教育振興基本計画（第 3 期）（令和 3 年 3 月策定）

実施計画期間：令和 3 年度～令和 6 年度

基本理念「ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育」

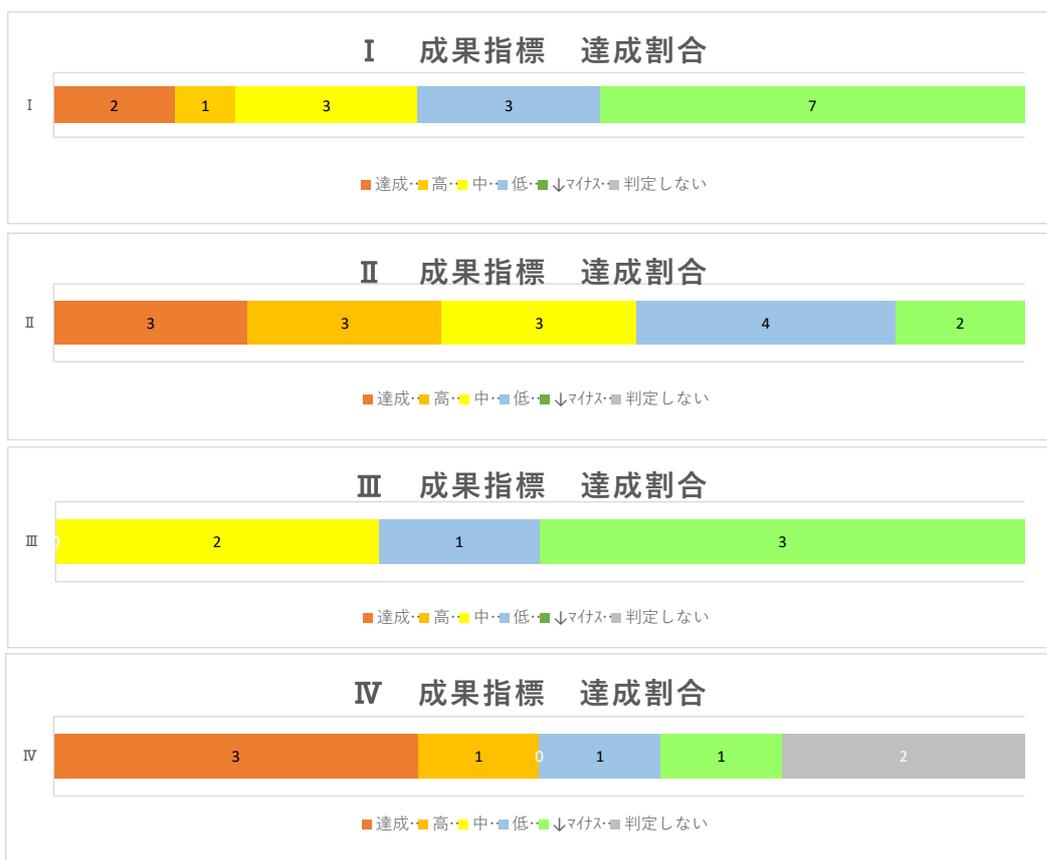
令和4年度の評価 [阿賀野市教育振興基本計画 と 市総合計画成果指標による評価]



**【目標達成度】**  
 達成：目標を達成したもの  
 高：目標の達成まで残りわずかなもの  
 中：目標に半分以上近づいているもの  
 低：目標の達成には努力が必要なもの  
 マイナス：基準値（R1）を下回るもの  
 ----：目標達成度を評価できないもの

基本計画 区分	指標数	達成 指標数	高 指標数	中 指標数	低 指標数	↓マイナス 指標数	判定し ない	前年度から		
								向上した数	下がった数	横這い
I	16	2	1	3	3	7		↗ 9	↘ 5	2
II	15	3	3	3	4	2		↗ 6	↘ 5	4
III	6	0	0	2	1	3		↗ 2	↘ 4	0
IV	8	3	1	0	1	1	2	↗ 3	↘ 1	-
計	45	8	5	8	9	13	2	↗ 20	↘ 15	6
割合	100.0%	18%	11%	18%	20%	29%	4%	44.4%	33.3%	13.3%

- I 個性や能力を伸ばす学校教育の推進
- II 人生を豊かにする生涯学習の推進
- III 地域協働による活動の推進
- IV 安全・安心な教育環境づくりの推進



令和4年度の評価 [阿賀野市教育振興基本計画と 市総合計画成果指標 対応表]

阿賀野市教育振興基本計画	市総合計画 成果指標	R6目標値	実績値	対基準値	達成度	基準値R1				
<b>1 確かな学力の育成</b> (1)・授業改善の推進 (「主体的・対話的で深い学び」の実現) (2)・学習習慣の確立 (3)・豊かな学びの基礎を培う幼児教育の充実 <b>2 豊かな人間性や健康でたくましい心身の育成</b> (1)・いじめや不登校を生まない学校づくり (2)・思いやりの心と命を大切にす道徳教育 (3)・健やかな体の育成 <b>3 一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援の充実</b> (1)・関係機関との連携による一貫した支援 (2)・全校体制による特別支援教育の推進 (3)・教職員の資質・専門性の向上 <b>4 グローバル化・ICT化に対応した教育の推進</b> (1)・英語力向上の取組 (2)・パソコンやタブレットの積極的な活用	全国学力・学習状況調査結果の標準化得点(児童)(点) (生徒)(点) 学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合(児童)(%) (生徒)(%) 授業が分かる児童生徒の割合(児童)(%) (生徒)(%) 1日1時間以上の家庭学習をしている児童生徒の割合(児童)(%) (生徒)(%) 新体力テスト全種目の全国平均を上回る児童生徒の割合(児童)(%) (生徒)(%) 不登校率(児童)(%) (生徒)(%) 基本的な生活習慣ができていない児童生徒の割合(児童)(%) (生徒)(%) 授業でコンピュータなどのICTを使用している割合(児童)(%) (生徒)(%)	100 100 95 90 88 80 85 70 70 60 0.30 3.15 92 92 100 100	97.5 97.0 84.6 88.7 86.4 80.4 70.1 64.2 63.8 49.0 1.8 4.2 90.3 94.5 41.3 15.4	横這い 横這い ↓ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↑ ↑ ↑	↓ ↓ ↓ 高 中 達成 低 中 低 ↓ ↓ ↓ ↓ 達成 中 低	98 98 87.1 83.9 82 76.9 69 57.6 57.8 52.5 0.96 3.83 91.2 89.9 6.7 2.6				
	学校教育課・教育センター	16指標			↑9	達成2				
	<b>1 生涯にわたって学ぶ場とその成果を社会に生かす場や機会の充実</b> (1)・多様な学びの場の充実と学習支援 (2)・学習機会や実践活動の充実 <b>2 豊かな地域文化の創造・発展と担い手の育成</b> (1)・文化財の保護・活用 (2)・地域文化を継承する人材の育成 <b>3 健康でうらおいのある市民生活に向けた芸術・文化・スポーツの振興と拡充</b> (1)・芸術・文化活動の充実 (2)・スポーツに触れ合う機会の提供	生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合(%) 学習成果を家庭や地域や社会に還元している市民の割合(%) 週1回以上、スポーツに親しんでいる市民の割合(%) 市民主体の年間学習活動回数(延べ)(回) 社会教育関係団体認定件数(件) 学習機会(テーマ・教室)が充実していると感じる市民の割合(%) 生涯学習施設の満足度(%) この1年間に生涯学習施設を利用したことがある市民の割合(%) スポーツ講座・教室・大会の年間参加者数(人) この1年間に生涯スポーツ施設を利用したことがある市民の割合(%) 生涯スポーツ施設の維持管理上の支障件数(市民に迷惑をかけた件数)(件) 毀損が明らかになった文化財数(件) 資料館・博物館の利用及び文化行政事業に参加したことがある市民の割合(%) 市民1人当たり蔵書数(冊) 市民1人当たり貸出冊数(冊)	15 10 20 4,967 104 10 85 20 18,000 16 0 0 14 5.2 3.0	10.5 6.0 13.9 4,979 81 8.2 83.2 17.3 9,096 12.1 0 0 11.0 4.25 2.50	横這い ↓ 横這い ↑ ↓ ↑ ↑ ↓ ↓ 横這い ↑ 横這い ↑ ↑ ↑	低 低 中 達成 高 高 ↓ 高 低 達成 達成 ↓ 中 低	10.8 6.7 14.4 4,899 92 7.8 82.7 18.2 16,687 14.2 0 0 12.4 3.83 2.05			
		生涯学習課	15指標			↑6	達成3			
		<b>1 地域の産業・文化・伝統の学びを通じた阿賀野市を愛する心の育成</b> (1)・学校・家庭・地域の協働体制づくり (2)・地域学習の推進 <b>2 家庭・地域と連携した学校づくりの推進</b> (1)・社会に開かれた教育課程の推進 (2)・学校・地域との連携によるキャリア教育の推進 <b>3 多様な体験活動や他者との関わりを通じた、心豊かで思いやりのある健全な青少年の育成</b> (1)・家庭の教育力の向上 (2)・地域の教育力の向上 (3)・健全な環境の整備	地域等と連携した特色ある教育活動の支援者数(人) 阿賀野市に愛着を持っている児童生徒の割合(児童)(%) (生徒)(%) 地域行事に参加している児童生徒の割合(児童)(%) (生徒)(%) 学校給食における地場産農産物使用率(%)	1,500 97 90 90 60 30	819 96.7 86.8 74.5 54.3 23.9	↓ ↑ ↓ ↓ ↓ ↑	低 中 ↓ ↓ ↓ 中	1,432 96.1 87.1 86.2 55.9 19		
			学校教育課・生涯学習課	6指標			↑2	↓3,低1		
			<b>1 児童生徒が安心して学べる学校づくりの推進</b> (1)・「いじめ防止対策推進法」に基づいた取組 (2)・相談支援体制の充実 <b>2 自分の命を守る防災教育等の充実</b> (1)・「防災教育プログラム」を活用した防災教育の推進 (2)・「学校安全計画」に基づく安全教育の推進 <b>3 安全・安心で快適な教育環境の整備・充実</b> (1)・学校施設の整備と機能向上 (2)・通学環境の安全確保 (3)・経済負担の軽減	いじめの認知件数(件) いじめの解消率(%) 学校施設の維持管理上の不具合による教育支障件数(件) 学校におけるセキュリティ管理に関する事故・トラブル件数(件) 心地よい学校生活を送るための施設・備品改善件数(計画期間内累計)(件) 学校生活に起因する事故件数(災害共済給付金請求件数)(件) 通学環境に関する満足度(%) 就学援助対象項目(項目)	- 96 0 0 累計7 210 90.5 13	246 85.8 0 0 17 284 91.7 12	- ↓ ↑ ↑ 横這い 横這い ↑ - -	- ↓ 達成 達成 高 低 達成 -	141 92.1 0 0 - 294 90.5 12	
				学校教育課	8指標			↑3	達成3	



## 第1節 Ⅰ 個性や能力を伸ばす学校教育の推進（学校教育課）

### 第1項 教職員配置・各種学校支援事業等に関すること

#### 1. 市立幼稚園・小中学校の教職員配置状況

市教育振興基本計画 I-1 確かな学力の育成、I-2 豊かな人間性や健康でたくましい心身の育成

##### ○幼稚園

	園長	副園長	教員	介助員	用務員	調理員	その他	合計
安田幼稚園	1	1	2	1	1			6
認定こども園 京ヶ瀬幼稚園	兼1	1	10	2	1	4	11	29
合計	1	2	12	3	2	4	11	35

##### ○小学校

・兼は兼務 ・※日本語指導含む

	校長	教頭	教員	養護教諭	栄養教諭	事務	栄養士	学習支援教員	介助員	用務員	調理員	その他	合計
安田小学校	1	1	21	1	1	1		1	4	2		2	35
京ヶ瀬小学校	1	1	18	1	1	1			5	1		1	30
分田小学校	1	1	6	1		1	兼1	1		1	3		15
堀越小学校	1	1	9	1		1		*1	2	1		兼1	*17
水原小学校	1	1	32	1	1	1			7	2		2	48
安野小学校	1	1	12	1		1	1	1	5	1	4		28
笹岡小学校	1	1	9	1		1	1		4	1			19
神山小学校	1	1	9	1	兼1	1			1	1	3		18
合計	8	8	116	8	3	8	2	4	28	10	10	5	210

##### ○中学校

	校長	教頭	教員	養護教諭	栄養教諭	事務	栄養士	学習支援教員	介助員	用務員	その他	合計
安田中学校	1	1	15	1		1		1	2	1	兼1	23
京ヶ瀬中学校	1	1	16	1	兼1	1		1	2	1	兼1	24
水原中学校	1	1	34	1		1	兼1	1	4	2	兼1	45
笹神中学校	1	1	16	1		1	兼1	1	1	1		23
合計	4	4	81	4		4		4	9	5		115

※その他小中：講師派遣ALT4人を配置、ICT支援員を業務委託

##### 園児数

学校基本調査 R4.5.1

	0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	合計
安田幼稚園	-	-	-	3	1	5	9
認定こども園 京ヶ瀬幼稚園	5	11	12	15	17	26	86
合計	5	11	12	18	18	31	95

児童・生徒数 上段はクラス数(1クラスは記載なし、-は下学年と複式学級) 学校基本調査 R4.5.1

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
安田小学校	2 51	2 51	2 67	3 71	2 52	3 76	3 17	385
京ヶ瀬小学校	2 46	2 52	2 52	2 47	2 48	2 59	4 23	327
分田小学校	6	- 3	6	- 6	6	14	1	42
堀越小学校	17	13	21	21	27	18	2 8	125
水原小学校	3 93	3 73	3 89	3 83	3 88	3 89	6 34	549
安野小学校	30	25	25	25	2 40	24	3 20	189
笹岡小学校	21	28	30	27	35	28	2 14	183
神山小学校	13	7	13	10	14	15	2 5	77
合計	277	252	303	290	310	323	122	1,877
安田中学校	2 60	2 63	3 81				2 6	210
京ヶ瀬中学校	2 51	2 42	2 49				2 10	152
水原中学校	4 125	5 150	5 170				5 27	472
笹神中学校	2 44	2 44	2 39				2 8	135
合計	280	299	339				51	969

## 2. 教育指導主事配置事業

市教育振興基本計画 I-1 確かな学力の育成…-(1) 授業改善の推進

I-3 一人ひとりの教育的ニーズに応える指導・支援の充実…

-(3) 教職員の資質・専門性の向上

事業内容	成果等
<p>教育センターの運営を行うため、教育指導主事4人を配置しました。</p> <p>令和4年度における教育委員会の基本方針「子どもの未来を拓く学校教育」を踏まえ、教員の資質・指導力向上を目指した指導・助言を行いました。</p> <p>学校評価についても、学校運営改善につながるよう指導しました。</p>	<p>学校現場への各種支援や助言、指導、監督、研修等を行い、教育課題の解決が図られました。</p> <p>小学校1教科(外国語)、中学校2教科(数学・英語)の学力向上プロジェクトを通して、教員の指導力向上が図られました。</p>
<p>(課題) 今後も継続した支援が必要です。</p>	

### 3. 学習指導等に関する学校訪問

市教育振興基本計画 I-3 一人ひとりの教育的ニーズに応える指導・支援の充実…  
-(3)教職員の資質・専門性の向上

研修分野	回数	研修名	成果等
学校・園訪問研修	55回	学習指導研修	学力向上に向けた指導法や評価法の習得が図られました。
		生徒指導研修	生徒指導上の課題解決策の充実が図られました。
		特別支援教育研修	特別支援教育の推進と充実が図られました。
小中学校学力向上プロジェクト	37回	数学科研修	学力向上に向けて授業改善の取り組みが行われました。
		外国語科（英語）研修	
新採用研修	1回	体験研修	教員として必要となる基礎的な資質の向上が図られました。
管理職研修	55回	校長・教頭研修	学校運営上の課題解決のため、管理職の職務能力向上が図られました。
授業参観研修	21回	学習指導研修	若手教員（阿賀野市勤務 2/2 2/5）の指導力向上が図られました。
(課題) 新たな授業参観研修も含め、学校訪問回数・教員への延べ指導回数とも増加（前年度比：34回増）しています。今後も継続した学習指導・学校訪問等が必要です。			

### 4. 学習支援教員配置事業

市教育振興基本計画 I-1 確かな学力の育成…-(1)授業改善の推進、-(2)学習習慣の確立

事業内容	成果等
学習内容の基礎・基本の定着と向上を図るため、個の習熟度に合わせた指導・支援を補助する学習支援教員（有資格者）7人を配置しました。	柔軟な学習班の編成や児童生徒指導・学習指導体制の充実、児童生徒の学校生活・活動の安定化が図られました。 ○学習支援教員配置校：7校 安田小、安野小、分田小学校、 安田中、京ヶ瀬中、水原中、笹神中学校
(課題) 中学校においては目標を達成しましたが、今後も継続した指導・支援が必要です。	

### 5. 外国語・国際理解教育推進事業（英語力向上推進事業）

市教育振興基本計画 I-4 グローバル化・ICT化に対応した教育の推進…-(1)英語力向上

事業内容	成果等
英語力向上推進事業と称し、株式会社ハートコーポレーションから講師派遣を受けて、ALT（外国語指導助手）4人を配置しました。他校配置のALTとふれあう機会として各学校でイングリッシュデイを設定しました。夏休みには、小学4～6年対象にALTと交流するイングリッシュキャンプを行いました。	ALTが英語指導や国際理解教育を行うことにより、英語力の向上や外国文化への視野拡大が図られました。 ○イングリッシュデイ 小学校8校、中学校4校。全26回。 ○イングリッシュキャンプ 期日：8月4日（木） 参加者：20名
(課題) 今後も継続した配置や機会が必要です。	

## 6. 適応指導教室運営事業

市教育振興基本計画 I-3 一人ひとりの教育的ニーズに応える指導・支援の充実

…(1)関係機関との連携による一貫した支援

事業内容	成果等
学校への対応ができず不登校の状態又はその傾向にある児童生徒の学びの場として、適応指導教室（白鳥ルーム）を設置しました。指導員と各学校との連携を密に保ち、学習や諸活動を通じ自校への復学等を促しました。	不登校の状態又はその傾向にある児童生徒が白鳥ルームを利用することにより、自校への復学につながりました。 在籍者 小学生：6人 中学生：6人
(課題) 今後も復学等を目標とし、個々の状況に合わせた学びの場の提供が必要です。	

## 7. 人権・同和教育の推進

市教育振興基本計画 I-2 豊かな人間性や健康でたくましい心身の育成

…(2)思いやりの心と命を大切にする道德教育

市教育振興基本計画 IV-1 安心して学べる学校づくり--(1)いじめ防止対策推進法に基づく取組

事業内容	成果等
第29回新潟県同和教育研究集会が開催され、各校から参加しました。越佐にんげん学校等人權講座に参加し理解を深めました。	8月4日(木)県同和教育研究集会 10人 同オンライン校内研修 11校
市教職員人權教育、同和教育研修会 対象等：市内校全教職員／オンライン 開催日：令和4年8月2日(火)	研修では「同和教育の今」と題して講話を頂き、同和教育の諸状況、授業づくりや基本的な考え方などを学び、同和教育の推進体制の整備が図られました。
(課題) 人權感覚を磨き、学校現場等で児童生徒へ接することが必要です。	

事業内容	成果等
京ヶ瀬中学校を道德教育研究指定校に指定しました。	指定校では公開授業や協議などを行い、道德教育の質向上が図られました。
(課題) 限られた時数等のなかで、効果的な授業実施と教員研修が必要です。	

事業内容	成果等
いじめ問題対策連絡協議会 開催日：令和4年10月7日(金)	いじめの防止等に関する機関及び団体相互の連絡調整及び情報共有を行い、機関団体の連携の推進が図られました。
(課題) 今後もしじめを防止する強い決意と、関係機関との強固な連携が必要です。	

## 8. 特別支援教育事業

市教育振興基本計画 I-3-(2)一人ひとりの教育的ニーズに応える指導・支援の充実  
 …全校体制による特別支援教育の推進

### ○介助員配置事業

事業内容	成果等
発達障がいや心身に障がいのある児童生徒の支援と安定した学習環境の充実を図るため、介助員を配置しました。	児童生徒の安全安心が保たれ、個別の指導計画に基づいた学習指導が行われました。 学級経営の安定化や充実が図られ、事業効果が見受けられました。
(課題) 支援を必要とする児童生徒が増えています。今後も継続した人員配置が必要です。	

<参考> 介助員配置校と配置数

学校名	配置数	学校名	配置数	学校名	配置数
安田小学校	4人	水原小学校	7人	安田中学校	2人
京ヶ瀬小学校	5人	安野小学校	5人	京ヶ瀬中学校	2人
分田小学校	0人	笹岡小学校	4人	水原中学校	4人
堀越小学校	2人	神山小学校	1人	笹神中学校	1人
				合計	37人

### ○通級教室設置事業

事業内容	成果等
児童生徒の障がいの状況に応じた通級指導教室を設置しました。	言語障がいや発達障がいなど児童生徒の抱える困難を改善・克服するため、必要な支援が行われました。
(課題) 今後も継続した支援が必要です。	

<参考> 通級教室設置校及び通級者数

令和4年5月1日現在

学校名	教室名	教室数	通級者数	備考
安田小学校	ことばの教室	1教室	17人	言語障がい通級指導教室
水原小学校	ことばの教室	2教室	32人	言語障がい通級指導教室
安野小学校	リソースルーム	1教室	14人	発達障がい通級指導教室
水原中学校	リソースルーム	1教室	12人	発達障がい通級指導教室

### ○発達障がい早期総合支援推進地域協議会事業

事業内容	成果等
発達障がい児やその家族に対し、医療・保健・福祉・教育・労働などの部局がそれぞれ横断的に連携し合い、できるだけ早期に適切な支援を行うことを目的に、発達障がい早期総合支援推進地域協議会の運営を行いました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総会 新型コロナウイルス感染防止のため書面開催</li> <li>○地区部会 期日：夏休み期間中に、安田、京ヶ瀬、水原、安野・堀越・分田、笹神の5地区で各1回開催 内容：情報交換</li> <li>○研修会 期日：5月10日(火) 内容：発達障がい支援講演会 「今だからできること」～個別支援と役割～ 講師：NPO法人適正育成ラボ ふわっち® 理事長 五十嵐貴子氏</li> </ul>
(課題) 今後も関係機関との情報共有等の機会や連携が必要です。	

○教育支援事業

事業内容	成果等
障がいの程度や教育的ニーズに応じて適正な就学支援が図れるよう、訪問・観察調査や就学相談、教育支援委員会の運営等を行いました。	<p>○教育支援調査 ※感染防止のため、園の訪問は中止し、資料調査。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園学校訪問調査：5月～7月 保育園4園、幼稚園1園、認定こども園13園 小学校8校、中学校4校</li> <li>・観察調査：9月～11月</li> <li>・就学相談：6月～3月 相談件数：50件</li> </ul> <p>○教育支援委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区委員会：10月下旬～11月中旬 対象者数：園児45人、児童生徒38人</li> </ul> <p>※安田、京ヶ瀬、水原、安野・堀越・分田、笹神の5地区で各1回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援委員会： 第1回：7月13日(水)対象者数：児童生徒6人 第2回：11月17日(木)対象者数：園児35人、児童生徒3人</li> </ul>
(課題) 今後も委員会開催や関係機関の連携が必要です。	

**9. 小中学校コンピュータ教育環境整備事業**

市教育振興基本計画 IV-3-(1)安全・安心で快適な教育環境の整備・充実・施設整備と機能向上  
I-4-(2)グローバル化・ICT化対応した教育の推進・タブレット等積極的活用

事業内容	成果等															
学習者用デジタル教科書実証事業 (文部科学省)	<p>令和4年度の国事業に参加し、市内全小学校の5・6年生及び中学校の全学年に英語と理科の学習者用デジタル教科書を配備しました。</p> <p>また、笹岡小学校を実証事業重点校に指定し、笹岡小学校1～4学年の児童にも生活及び理科の学習者用デジタル教科書を配備しました。</p>															
学習eポータルサイト利用開始	<p>令和5年度の全国学力・学習状況調査における中学校英語「話すこと」調査が文部科学省CBTシステム(MEXCBT:メックビット)を活用しオンラインで実施されることに伴い、システム利用に必要な学習eポータルサイトの利用を開始しました。</p>															
Wi-Fiルーター貸し出し	<p>感染症等による学級閉鎖等への支援として、Wi-Fi環境が無い家庭にWi-Fiルーターの貸出しを行いました。児童23,生徒11名 計21世帯</p>															
ICT支援員配置事業(業務委託)	<p>阿賀野市小中学校ICT活用計画に基づき、タブレット端末機等機器の使用や管理等の体制整備を図るため、ICT支援員を配置し、教員への支援を行いました。</p>															
小中学校ICT機器修繕	<p>【修繕実績】(区分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(小学校)</th> <th>(中学校)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タブレット端末</td> <td>13台</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>プリンタ</td> <td>2台</td> <td>5台</td> </tr> <tr> <td>ノートパソコン</td> <td>1台</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>その他周辺機器</td> <td>—</td> <td>3台</td> </tr> </tbody> </table>		(小学校)	(中学校)	タブレット端末	13台	1台	プリンタ	2台	5台	ノートパソコン	1台	2台	その他周辺機器	—	3台
	(小学校)	(中学校)														
タブレット端末	13台	1台														
プリンタ	2台	5台														
ノートパソコン	1台	2台														
その他周辺機器	—	3台														
(課題) 今後も継続して、タブレット端末他ICT機器の利用促進や教員への支援を行う必要があります。機器修繕件数を最小限にする必要があります。																

## 第2項 研修に関すること

### 1. 阿賀野市新任教職員研修

市教育振興基本計画 I-3-(3)教育的ニーズに応える指導・支援の充実…教職員の資質の向上

事業名	内 容		成果等
校外体験研修	小中学校 新採用教職員 9 人 7 月 29 日 (金)	保育体験 (あがの子育て支援センターにここ、やすだ児童クラブ、コスモス児童クラブ、認定こども園京ヶ瀬幼稚園)	教員として必要となる基礎的な資質の向上が図られました。
(課題) 教員の基礎的な資質の向上を図る必要があります。			

### 2. 学校給食調理員等研修

市教育振興基本計画 I-2-(3)豊かな人間性や健康でたくましい心身の育成…健やかな体の育成

事業名	成果等
学校(園)給食関係職員夏季研修 感染防止のため中止しましたが、「阿賀野市立学校における食物アレルギー対応マニュアルの改訂に関する説明会」を行い、代替研修としました。	食物アレルギー対応について、マニュアルを確認し、調理作業の注意点などの内容も合わせ研修しました。
(課題) 衛生管理やアレルギー対応については、定期的に研修を開き、担当者の意識向上を図る必要があります。	

### 3. その他研修

他、第1節第1項3.「学習指導等に関する学校訪問」を参照。

研修分野・名	回数	研修内容	成果・課題等
学校情報セキュリティ研修(配信のみ)	1回	情報セキュリティ研修	阿賀野市学校情報ネットワークの理解や学校における情報の取扱いについて意識向上が図られました。
I C T 授業研修	3回	授業公開及び協議会の開催	授業公開及び協議会を通じて、ICT機器の効果的な学習方法を検証し、より質の高い教育と教員の指導力の向上を図りました。
(課題) 今後も継続した研修機会の提供が必要です。			

### 第3項 学校給食に関すること

市教育振興基本計画 I-2-(3)豊かな人間性や健康で逞しい心身の育成…健やかな体の育成

#### 1. 年間給食回数

学校名	回数	学校名	回数	学校名	回数
安田小学校	190回	安野小学校	196回	水原中学校	179回
京ヶ瀬小学校	192回	笹岡小学校	192回	笹神中学校	191回
分田小学校	192回	神山小学校	190回	安田幼稚園	189回
堀越小学校	193回	安田中学校	188回	京ヶ瀬幼稚園	184回
水原小学校	196回	京ヶ瀬中学校	189回		

#### 2. 給食調理業務の民間委託

事業内容		成果・課題等
委託された学校・給食センターにおいても、適切に業務が履行され、安心安全な学校給食が提供されました。		民間委託後も安心安全な学校給食の提供を継続しています。
(課題) 今後も安全な給食の提供を監督する必要があります。		
調理場 内訳	委託施設	安田学校給食センター、京ヶ瀬小学校、水原小学校、笹岡小学校 京ヶ瀬中学校、水原中学校、笹神中学校
	直営施設	分田小学校、安野小学校、神山小学校、京ヶ瀬幼稚園

#### 3. 安心安全な給食の提供

事業内容	成果等
学校と協力し、地場産物の積極的利用や郷土料理の普及、将来の健康につながる減塩給食の実施など行いました。 また、給食の実施状況を評価するため、6月に残食総量の調査、11月に残食率の調査を行いました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内統一減塩給食の実施 年3回実施</li> <li>学校給食残食量 (R4.6月調査) 小学校 1.1t/月 中学校 1.3t/月</li> </ul>
『阿賀野市学校給食衛生管理・異物混入防止マニュアル』に沿った適切な衛生管理の徹底を、各調理場へ呼びかけました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食異物混入件数 10件 (R3:10件) ※調理場内発見除く (内訳) 毛髪や虫等の混入:9件 硬質異物等の混入:1件</li> </ul>
「阿賀野市学校給食食物アレルギー対応マニュアル」を「阿賀野市立学校における食物アレルギー対応マニュアル」に改訂し、内容を具体化しました。	マニュアルを改訂し、学校食物アレルギー対応方法を具体化しました。
(課題) 食物アレルギーの事故防止及び、アレルギー発症時の対応力強化のため、定期的に学校現場の意見を確認しながら、随時マニュアルの見直しを行う必要があります。	

## 第2章第1節 学校教育施策の課題と対応（教育センター）

---

令和3年3月、阿賀野市総合計画（後期基本計画）のまちづくりの後期目標を踏まえ、「ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育」を新たな基本理念とする阿賀野市教育大綱並びに阿賀野市教育振興基本計画を策定しました。

教育委員会では、この計画に基づき、学校や地域の実情を踏まえ、学校教育課と生涯学習課の分担と連携を軸に、各種の施策・事業を推進してきました。

阿賀野市教育振興基本計画のなかで、阿賀野市教育の基本理念の具現化に向けて、学校教育の基本方針を「個性や能力を伸ばす学校教育の推進」とし、令和4年度も事業を推進してきました。

ここでは、令和4年度に実施した事業や今後の重点的な課題に絞って、今後に向けての問題点や課題と対応を総括しました。

## 第1節 個性や能力を伸ばす学校教育の推進（教育センター）

### 第4項 学力の向上と学習・生活習慣の改善

#### 1. 全国学力調査結果から 現状と課題 ～小学6年生&中学3年生～

全国学力・学習状況調査は、全国の小学6年生と中学3年生を対象としています。

※全国学力学習状況調査の学力については、教育活動の一側面であることに留意する必要があります。

#### ○全国値を100とした標準化得点と平均正答数 ～小学6年生～

年度 調査項目	阿賀野市							
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令2	令和3年度	令和4年度
国語A（知識）	101	99	101	100	99	調査中止	98	98
国語B（活用）	98	99	99	99				
算数A（知識）	99	101	100	100	97		98	97
算数B（活用）	98	99	98	98				
理科	99			99				98
国語A（知識）	10.0/14	10.8/15	11.4/15	8.4/12	8.7/14		8.4/14	8.7/14
国語B（活用）	5.5/9	5.6/10	5.0/9	4.3/8				
算数A（知識）	11.9/16	12.7/16	11.7/15	8.8/14	8.4/14		10.6/16	9.1/16
算数B（活用）	5.4/13	5.9/13	4.7/11	4.6/10				
理科	13.9/24			9.3/16				10.1/17

#### ○全国値を100とした標準化得点と平均正答数 ～中学3年生～

年度 調査項目	阿賀野市							
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令2	令和3年度	令和4年度
国語A（知識）	97	100	98	97	99	調査中止	98	98
国語B（活用）	99	99	98	97	97			
数学A（知識）	97	99	98	96	97		95	96
数学B（活用）	97	99	98	96	96			
理科	97			97				97
英語					97			
国語A（知識）	23.7/32	25.2/33	23.6/32	22.7/32	7.1/10		8.6/14	9.0/14
国語B（活用）	5.7/9	5.8/9	6.1/9	5.0/9	5.0/9			
数学A（知識）	20.8/36	21.7/36	21.7/36	20.8/36	8.6/16		7.4/16	6.0/14
数学B（活用）	5.2/15	6.3/15	6.6/15	5.2/14	5.2/14			
理科	11.5/25			16.1/27			9.0/21	
英語					10.6/21			

※英語は「聴くこと」「読むこと」「書くこと」についての値

## 全国学力・学習状況調査(小学6年生&中学3年生)意識調査結果

○「授業の内容はよくわかる」と肯定的回答をした児童生徒割合

R4結果 教科	小学校		中学校	
	全国(%)	阿賀野市(%)	全国(%)	阿賀野市(%)
国語	84.1	86.2	81.2	84.3
算数・数学	81.2	80.5	76.2	80.4
理科	88.5	92.6	75.2	76.7

○「平日1日当たりの児童生徒の家庭学習時間」

R4結果 時間	小学校		中学校	
	全国(%)	阿賀野市(%)	全国(%)	阿賀野市(%)
3時間以上	11.3	3.7	9.9	3.5
2時間以上3時間未満	13.8	11.7	25.3	18.3
1時間以上2時間未満	34.3	54.7	34.3	42.4
30分以上1時間未満	25.8	24.8	17.0	20.3
30分未満	10.5	3.4	8.5	8.7
全くしない	4.2	1.7	4.9	6.4

### 1 確かな学力の育成

「確かな学力の育成」について、令和4年度4月に実施された「全国学力・学習状況調査」からみられた成果と課題から考察します。

#### (1) 標準化得点について (P24 参照)

阿賀野市6年児童の標準化得点は、国語科が前年度調査と同じく全国を2ポイント、算数科は前年度調査より1ポイント下降し全国を3ポイント、理科は平成30年度調査より1ポイント下降し全国を2ポイント下回っています。また、市総合計画成果指標には届かない状況にあります。阿賀野市の6年児童は、国語科、算数科、理科ともに、全国よりやや低い状況であるといえます。

阿賀野市中学3年生の標準化得点は、国語科は前年度調査と同じでしたが全国を2ポイント、数学科は前年度調査より1ポイント上昇しましたが全国を4ポイント、理科は平成30年度調査と同じく、全国を3ポイント下回りました。市総合計画成果指標には届かない状況にあります。阿賀野市の3年生生徒は、国語科については全国よりやや低い状況ですが、数学科及び理科は明らかに低い状況にあるといえます。

以上、阿賀野市6年児童3年生の学力の課題は、これまで同様、基礎基本的内容の確実な習得及び思考力・判断力・表現力の育成であると考えます。

#### (2) 「授業が分かる」6年児童3年生の割合について (上記表 参照)

阿賀野市小学校6年の肯定的評価は、国語科は全国を2.1ポイント、理科は全国を4.1ポイント上回りましたが、算数科では全国を0.7ポイント下回りました。阿賀野市総合計画の成果指標からは、理科で指標を上回りましたが、国語科は1.8ポイント、算数科

は7.5ポイント下回りました。3教科の平均は86.4%であり、わずかに指標には届きませんでした。概ね良好な状況にあるといえます。

阿賀野市中学3年生徒は、国語科は全国を3.1ポイント、数学科は4.2ポイント、理科は1.4ポイント上回りました。市総合計画成果指標については、理科以外の2教科が指標に届いています。特に、令和3年度までの調査では、数学科は全国を下回ることが多かったのですが、令和4年度調査では全国を上回りました。3教科の平均は80.5%であり、市の指標をわずかですが上回り、学習に対する中学3年生徒の意識は改善しつつあるといえます。

### (3) 家庭学習時間について (P25表 参照)

阿賀野市小学校6年児童及び中学校3年生徒ともに、家庭学習の最多時間帯は、「1時間以上2時間未満」でした。しかし、「2時間以上」では小学生及び中学生3年生徒ともに、全国を下回りました。小学生及び中学生ともに、市総合計画の指標を下回っています。

学力向上には、家庭学習は不可欠です。小学校6年児童及び中学校3年生徒ともに、当面家庭学習「30分未満」の6年児童3年生徒を減らすことがポイントであると考えます。

## 2. 課題解決に向けて

各校は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善を進めています。その結果、「授業が分かる」と肯定的評価をしている児童生徒が増えてきています。しかし、この意識が必ずしも学力に結びついていません。その要因としては、授業のグループ学習や学級全体の学び合いの中での「対話的な学び」が充実していないこと、定着を図る取組（学校での補充習熟の時間の確保、家庭学習の実施）が十分でないことが考えられます。

### ① 学習内容の確かな理解と思考力、判断力、表現力の育成に向けて

上記のように、問題の要因の一つが授業のグループ学習や学級全体の学び合いの中での「対話的な学び」が充実していないことが考えられます。そこで、阿賀野市教育センターとして、学校訪問を通して、下記のことを指導し、「対話的な学び」の充実を図っていきます。

ア 対話の前に、児童生徒一人一人が考える時間を十分取ること。その中では、自分の考えを書く活動を取り入れること。

イ グループ学習では、学習の目的を明確にし、単なる発表で終わらない活動を仕組むこと。

目的例 グループで一つの考えにまとめたり最適解を考えたりすること  
グループを構成する児童生徒が全員理解できるようにすることなど

ウ 学級全体の学び合いの対話では、教師の一問一答で授業を進めないこと。児童生徒相互をかかわらせ、確実に考えを共有（理解）させるようにすること。

## ② 学習内容の定着と長期的な保持に向けて

学習内容の確実な定着に向けては、繰り返しの学習が不可欠です。市教育委員会では、学習内容の確実な定着に向けて以下のことを指導していきます。

ア 校内でも学習内容の定着に向け、校時表や週歴等を工夫し、習熟を図る時間を設定するよう指導していきます。

イ 各校で実施している家庭学習プランニングタイムの内容の充実について、学習課題等について指導・助言していきます。

ウ Web配信集計システムの診断問題を活用し、学習内容の定着を図ることを指導していきます。

## 第5項 児童生徒の体格・体力等の状況について

### 1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から 現状と課題

全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、小学校5年生と中学校2年生を対象としています。令和2年度は、実施なし（新型コロナウイルス感染症流行による）

○小学5年生の体格<令和4年度調査より>

		身長(cm)		体重(kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)					
		平均値	T得点	平均値	T得点	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	普通	やせ	高度やせ
小学 5年生 男子	全国	139.52	50.0	35.51	50.0	1.6%	5.9%	7.0%	82.9%	2.4%	0.1%
	新潟県	140.05	50.8	36.05	50.7	1.5%	6.6%	7.9%	81.2%	2.6%	0.2%
	阿賀野市	140.53	51.6	35.97	50.6	0.6%	7.6%	7.6%	79.0%	4.5%	0.6%
小学 5年生 女子	全国	141.30	50.0	35.37	50.0	0.8%	3.6%	5.4%	87.6%	2.9%	0.1%
	新潟県	141.90	50.9	35.79	50.6	1.0%	3.8%	5.8%	86.4%	2.9%	0.1%
	阿賀野市	142.04	51.1	36.69	51.8	1.8%	6.0%	7.8%	82.6%	1.8%	0.0%

#### (1) 小学5年生の体格

小学5年生男子の体格は、体格得点（全国平均値を50）で見ると、身長が51.6、体重が50.7で全国平均値を上回っています。また、小学5年生女子の体格も、体格得点で身長が51.1、体重が51.8と全国平均を上回る結果でした。

体格面では、男女共に全国平均値を上回り、よい傾向にあります。

肥満傾向（高度、中等度、軽度の合計）の割合は、小学5年生男子が15.8%と昨年度より減少し、高度肥満も全国・県より大幅に減少し改善傾向が見られました。

一方、小学5年生女子の肥満傾向の割合は15.6%で、全国・県より高い比率でした。

全体的な傾向としては、概ね良好と言えますが、肥満傾向の比率が女子に顕著にみられました。ここ数年は、新型コロナウイルスの影響により、運動領域の制限や日常生活における食生活の乱れ等が体力低下や肥満傾向の要因として考えられていましたが、令和4年度も女子にその傾向がみられました。今後も学校と家庭・専門機関との連携を強固にしながら、健康面について指導改善を図っていく必要があります。

○小学5年生の体力・運動能力<令和4年度調査より>

		握力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)		シャトルラン (回)	
		平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
小学 5年生 男子	全国	16.21	50.0	18.86	50.0	33.79	50.0	40.36	50.0	45.92	50.0
	新潟県	16.93	51.8	19.56	51.2	35.05	51.4	43.15	53.3	51.91	52.8
	阿賀野市	17.66	53.7	20.89	53.4	34.76	51.1	44.07	54.4	54.92	54.3
小学 5年生 女子	全国	16.10	50.0	17.97	50.0	38.18	50.0	38.66	50.0	36.97	50.0
	新潟県	16.56	51.2	18.59	51.2	39.43	51.4	41.92	54.3	43.95	54.4
	阿賀野市	16.86	52.0	18.25	50.5	38.80	50.7	42.14	54.6	44.07	54.5
		50m 走 (秒)		立ち幅とび (cm)		ソフトボール 投げ(m)		体力合計点 (点)			
		平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点		
小学 5年生 男子	全国	9.53	50.0	150.83	50.0	20.31	50.0	52.28	50.0		
	新潟県	9.54	49.9	153.51	51.1	21.07	50.9	54.43	52.3		
	阿賀野市	9.43	50.8	152.47	50.7	22.48	52.7	55.93	53.8		
小学 5年生 女子	全国	9.70	50.0	144.55	50.0	13.17	50.0	54.31	50.0		
	新潟県	9.65	50.6	148.21	51.6	13.96	51.7	57.13	53.2		
	阿賀野市	9.61	50.9	151.10	52.9	14.34	52.5	57.30	53.4		

(2) 小学5年生の体力・運動能力

小学5年生男子の体力・運動能力は、全8種目で全国平均値を上回り、高い体力・運動能力を有しています。体力合計点も53.8で、体力合計平均値の都道府県比較で見ると全国1位に相当します。

小学5年生女子の体力・運動能力も高い値を維持しています。体力合計点53.4は都道府県比較では全国4位に相当するほか、男子同様、全ての項目で全国比50を超えるなど、素晴らしい結果となっています。

以上、阿賀野市の小学5年生の体力・運動能力は、男女共に高い値を維持しています。これは、新型コロナウイルス感染対策の中、全ての市内小学校で体力向上策が、意図的・計画的に全校体制で実践されている成果といえます。なお、小学校5学年は、全種目で全国平均値を超えていますが、体力・運動能力の向上に向け、改善の余地がまだあります。

今後も、この結果に満足することなく、学校における体力向上を目指した体育授業形態の工夫や日常的な運動量の確保を図った効果的な活動を継続していくことが、大切と言えます。

○中学2年生の体格<令和4年度調査より>

		身長 (cm)		体重 (kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 (%)					
		平均値	T得点	平均値	T得点	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	普通	やせ	高度やせ
中学 2年生 男子	全国	161.05	50.0	50.45	50.0	1.9%	4.4%	5.2%	85.4%	3.0%	0.2%
	新潟県	161.87	51.1	50.58	50.1	1.4%	3.7%	5.7%	85.9%	3.1%	0.2%
	阿賀野市	161.04	50.0	50.71	50.2	2.4%	3.6%	10.8%	79.6%	3.6%	0.0%
中学 2年生 女子	全国	154.92	50.0	47.09	50.0	0.9%	2.6%	4.2%	88.5%	3.6%	0.2%
	新潟県	155.52	51.1	47.23	50.2	0.9%	2.0%	3.6%	89.7%	3.6%	0.3%
	阿賀野市	155.24	50.6	46.51	49.2	0.8%	2.4%	1.6%	92.7%	2.4%	0.0%

### (3) 中学2年生の体格

中学2年生男子の体格は、体格得点（全国平均値を50）で見ると、身長が50.0、体重が50.2で、全国平均値とほぼ同等です。

肥満傾向（高度、中等度、軽度の合計）の割合は、16.8%と大幅増となり全国・県よりも約2倍高くなっています。

一方、中学2年生女子の体格は、体格得点で身長が50.6、体重が49.2となり、全国・県と比較して体重がやや減少しています。

肥満傾向の割合は4.8%、痩身傾向の割合2.4%と全国・県よりも低く、さらに、普通体形の割合が90%を超え、バランスの取れた体形といえます。

全体的に女子は良い傾向にありますが、男子は中等度・軽度肥満の割合が全国・県よりも高く、生活習慣を含めた改善が必要といえます。

また、中学校も小学校同様、学校における体力向上を目指した体育授業形態の工夫や日常的な運動量の確保を図った効果的な活動を継続していくことが、今後も大切と言えます。さらにメディア依存の影響も懸念されることから、学校と家庭・専門機関との連携を強固にしなが、今後も指導改善を図っていく必要があります。

#### ○中学2年生の体力・運動能力<令和4年度調査より>

		握力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)		シャトルラン (回)	
		平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
中学 2年生 男子	全国	28.99	50.0	25.74	50.0	43.87	50.0	51.05	50.0	78.07	50.0
	新潟県	30.09	51.5	26.85	51.8	46.51	52.4	51.89	50.9	80.52	50.9
	阿賀野市	28.66	49.5	25.74	50.0	43.73	49.9	46.07	44.4	71.15	47.3
中学 2年生 女子	全国	23.21	50.0	21.67	50.0	46.07	50.0	45.81	50.0	51.60	50.0
	新潟県	23.65	50.9	22.67	51.7	48.65	52.4	46.21	50.6	53.97	51.2
	阿賀野市	23.87	51.4	22.75	51.8	48.84	52.6	44.37	48.0	52.11	50.3

		50m 走 (秒)		立ち幅とび (cm)		ハンドボール 投げ(m)		体力合計点 (点)	
		平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
中学 2年生 男子	全国	8.06	50.0	196.89	50.0	20.28	50.0	41.04	50.0
	新潟県	8.01	50.5	202.71	51.9	21.11	51.4	43.50	52.3
	阿賀野市	8.01	50.5	192.07	48.4	21.86	52.6	39.86	48.9
中学 2年生 女子	全国	8.96	50.0	167.04	50.0	12.45	50.0	47.42	50.0
	新潟県	8.95	50.2	169.10	50.8	12.62	50.4	49.38	51.7
	阿賀野市	8.90	50.6	165.89	49.6	12.84	50.9	49.04	51.4

### (4) 中学2年生の体力・運動能力

中学2年生男子の体力・運動能力は、体力合計点は48.9で、全国平均より低い結果でした。特に、20m シャトルランや反復横跳びの2種目が著しく低下しました。

どちらも持久力を要する種目のため、肥満傾向（高度、中等度、軽度の合計）の割合が大幅増となったことが低下の要因として考えられます。

一方、中学2年生女子の体力・運動能力は、体力合計点が51.4で全国平均値を大幅に超

える結果となり都道府県比較でみると全国9位となり上位に位置しています。

(5) 質問紙から見た児童生徒の意識調査結果<令和4年度調査> ( )内は全国平均数

質問項目	小学5年生男子	小学5年生女子	中学2年生男子	中学2年生女子
運動が好き	72.9%(69.8%)	41.9%(55.0%)	58.1%(62.1%)	42.5%(44.2%)
運動は大切	71.8%(68.7%)	53.0%(59.2%)	59.3%(66.1%)	45.7%(50.7%)
体育授業は楽しい	69.9%(73.4%)	47.9%(59.3%)	59.0%(57.2%)	34.4%(41.9%)
放課後や休日に運動をする	44.9%(43.0%)	35.0%(31.8%)	34.3%(33.8%)	16.1%(18.1%)
朝食は毎日食べている	86.7%(82.3%)	72.7%(81.1%)	82.8%(80.0%)	78.6%(73.4%)

「運動が好き」「楽しい」「大切」といった肯定評価の割合が小中共、全体的に高い傾向にある。

◎毎日、どのくらい寝ていますか

質問項目	小学5年生男子	小学5年生女子	中学2年生男子	中学2年生女子
「10時間以上」	11.8%(10.0%)	2.5%( 9.5%)	5.8%( 2.1%)	0.0%( 1.2%)
「9時間以上10時間未満」	21.1%(27.0%)	17.8%(29.0%)	3.5%( 6.6%)	2.4%( 4.6%)
「8時間以上9時間未満」	35.5%(29.7%)	40.5%(30.8%)	18.1%(19.8%)	11.1%(15.1%)
「7時間以上8時間未満」	19.7%(20.6%)	26.4%(19.7%)	38.0%(37.5%)	34.1%(33.9%)
「6時間以上7時間未満」	9.9%( 8.9%)	10.4%( 8.5%)	25.7%(25.7%)	36.5%(33.1%)
「6時間未満」	2.0%( 3.8%)	2.5%( 2.7%)	8.8%( 8.3%)	15.9%(12.1%)

睡眠時間については小中の男子共に9時間以上の割合が昨年度より高くなった。

◎平日、1日にどれくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマホ、PCの画面を見ていますか

質問項目	小学5年生男子	小学5年生女子	中学2年生男子	中学2年生女子
「5時間以上」	16.3%(17.0%)	9.3%(12.7%)	19.3%(17.0%)	14.4%(15.2%)
「4時間以上5時間未満」	13.7%(10.2%)	11.1%( 9.5%)	14.5%(11.8%)	11.9%(11.6%)
「3時間以上4時間未満」	13.1%(13.9%)	13.6%(12.6%)	22.9%(18.6%)	21.6%(18.3%)
「2時間以上3時間未満」	28.8%(20.9%)	32.7%(19.5%)	28.9%(26.2%)	35.2%(25.8%)
「1時間以上2時間未満」	22.9%(23.4%)	26.5%(24.7%)	12.0%(20.5%)	16.8%(21.3%)
「1時間未満」	3.9%(12.7%)	5.6%(18.4%)	2.4%( 5.3%)	1.6%( 7.2%)
「全く見ない」	1.3%( 1.9%)	1.2%( 2.6%)	0.6%( 0.7%)	0.0%( 0.6%)

メディア時間については「4時間～5時間」の割合が昨年度に比べ減少した。これは、各校で保健指導に力を注ぎ家庭への働きかけも功を奏している結果と思われる。

なお、睡眠とメディア時間の関連で見ると、良く寝る生徒もメディア視聴時間が長い生徒も相対的に男子の割合が高い。一方、少数ではあるが、睡眠6時間未満の生徒も見られる。健康の重要性を再確認し児童生徒及び家庭への働きかけを今後も粘り強く継続し、児童生徒の健やかな「心と体の健康」をさらに高めていく必要がある。

## 2. 課題解決に向けて

---

令和3年度末までは新型コロナウイルス感染のため、体育面については水泳授業をはじめ身体接触を伴う運動や集団で行う運動など、活動の中止又は制限を余儀なくされるものが多くありました。

このような環境下においても、学校生活で運動の場を保障することは必須であり、新潟県が取り組んでいる「1学校1取組運動」を柱とした各校の重点的な取組や全校体制での効果的な取組、体育時間における準備運動の工夫等、運動量の確保と運動の質の向上を中核に据えていくことを最重要課題に位置づけ取り組んできました。

今後も、この方向性は変わることはありません。

併せて、体育は体力の向上が最大の目標ではありますが、ペア活動やチームゲーム、集団行動等、必然的に生じる「人とのかかわり」を深める活動に大きな教育効果が得られます。児童生徒質問「体育の授業が好きな理由は何ですか」の1位が小・中学校の男女共「友達や仲間と一緒に活動できる」ことをあげていました。

運動量の確保を大前提にしながら、今後も助け合いや話し合い活動、ICT機器の有効な活用等を通して授業改善を図り、児童生徒の「心と体の健康」をさらに高めていくために各校への有効な情報提供と訪問を通じた指導助言を行っていきます。

## 第6項 生徒指導について

### 1. いじめ・不登校の解消の推進について 現状と課題

令和4年度 学校におけるいじめについて

	R4	前年比増減(R3)	解消率	いじめ発見のきっかけ:件	
				本人・保護者	教員
小学校	189件	-12 (201)	83.1% (157件/189件)	128	31
中学校	60件	+15 (45)	98.3% (59件/60件)	31	28

令和4年度 不登校について

※R4は暫定値です

	R4 発生率(人)※	前年比増減 人	R3 発生率(人)	指導により登校可能となった数
小学校	2.17% (41人)	+8	1.75%(33人)	22人/41人 (8人/33人)
中学校	5.38% (53人)	+11	4.22%(42人)	27人/53人 (7人/42人)
<不登校になったきっかけ> (理由別、抜粋) 無気力・不安の傾向41人, 友人関係をめぐる問題11人, 生活リズムの乱れ・遊び7人				

(学校におけるいじめの状況)

令和3年度と比較して、いじめの認知件数に大きな増減はありません。昨年度に引き続き、いじめの積極的な認知が行われています。初期段階の小さな訴えやトラブルもいじめとして積極的に認知し、解消に向けて取り組んでいます。各校では、年間複数回のアンケート調査と教育相談を行い、どんな小さいいじめも見逃さない積極的な認知に努めています。また、被害児童生徒が苦痛に感じているものは「いじめ」として、被害児童生徒の立場に立った認知を行っています。

いじめの解消判断について、「3カ月以上様子を見守る」「被害児童生徒とその保護者に直接聞いて確かめる」ことを徹底しています。慎重な解消判断によって、解消率に変化が見られます。

(成果) 被害児童生徒の立場に立った積極的ないじめの認知が行われている。

いじめの解消判断を慎重に行っている。

(課題) 人権を大切にすることを基盤とした発達支持的生徒指導に取り組むこと。

(不登校の状況)

阿賀野市における不登校の発生率は、令和3年度と比べて、小学校も中学校も大幅に増えました。不登校が増加した要因としては、本人の特性や複雑な家庭環境、学級における不適応などが考えられます。また、生活の乱れに起因する児童の増加も原因として考えられます。

不登校により30日以上欠席した児童生徒の数は増えていますが、指導により登校できるようになった人数及び割合は昨年度と比較して大幅に増えていきます。これは、外部専門機関及び校内で相談指導を受けた児童生徒の人数及び割合が増えたことによるものです。小学校では4

1人中37人(90%)、中学校では53人中16人(30%)が外部専門機関や校内で相談指導を受けています。令和3年度は小学校39%、中学校12%でした。各校で熱心に取り組んだ成果と言えます。

(成果) 外部専門機関や校内で相談指導を受け、再び登校できるようになった児童生徒が増えている。

(課題) 「子どもとともに1・2・3運動」「5日以上欠席した場合に早急に校内対策会議を開いて働きかける」等の初期対応が遅れる場合があること。初期対応の遅れにより、学校復帰が難しくなっている事例がある。

## 2. 課題解決に向けて

人権を大切にすることを基盤とした発達支持的生徒指導に取り組んでいきます。お互いを認め合い共に協力し合う人間関係を構築していきます。道徳や特別活動の教育計画を見直し、発達支持的生徒指導に継続的に取り組んでいく特色ある教育活動を推進していきます。児童生徒も教師も人権感覚を磨き、いじめの認知やいじめをなくしていくことについて共通理解を図っていきます。

いじめの問題を職員が一人で抱え込むことなく、いじめの解決に向けて学校組織として適切に対応できるよう、各校に指導していきます。被害児童生徒の立場に立ったいじめの積極的な認知、注意深く見守り被害児童生徒と保護者に直接確認する慎重な解消判断に取り組んでいきます。

不登校児童生徒への対応では、「子どもとともに1・2・3運動」及び新規で5日以上欠席した児童生徒について教育委員会に速報を入れる「早期相談システム」の確実な実施による初期対応に力を入れていきます。児童生徒の小さな見逃さず、アセスメントに基づいて児童生徒の困り感に支援していきます。

市の相談員、「白鳥ルーム」、市の相談機関、各校に配置されているスクールカウンセラー、下越教育事務所のスクール・ソーシャルワーカー、児童相談所、医療機関などと連携して児童生徒の支援に取り組んでいきます。

## 第7項 特別支援教育の充実

### 1. 現状と課題

特別な支援を要する幼児児童生徒は年々増加傾向を示しています。これまでに市独自の仕組みを立ち上げ、関係機関が連携して適切な就学に係る教育支援に当たることや特別支援教育を充実させることなどの対応を進めてきました。

しかし、幼稚園、認定こども園、保育園や小・中学校の現場における幼児児童生徒の実態が多様化しており、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と支援に一層努めていく必要があります。また、教職員の専門性の向上を図るとともに介助員の計画的な配置など個別支援体制の拡充が求められています。

○特別支援学級在籍児童生徒数の推移

(各年4月1日現在、単位：人)

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
小学校	知的障がい	27	27	24	25	34	36	46	50	45	49
	自閉・情緒	32	35	43	46	49	51	53	78	82	72
	肢体不自由							2	2	2	1
	計	59	62	67	71	83	87	101	130	129	122
中学校	知的障がい	18	12	14	18	19	16	18	14	23	27
	自閉・情緒	13	24	19	23	25	27	23	26	21	24
	計	31	36	33	41	44	43	41	40	44	51

### 2. 課題解決に向けて

障がいのある幼児児童生徒やその家族の支援では、早期の発見と対応が大切であり、障がいの種別に応じた適切な取組が求められています。これまでの阿賀野市の実績と成果を生かし、下記の取組を一層推進していきます。

- (1) 市内全ての小・中学校や幼稚園、認定こども園、保育園に「特別支援教育訪問」を実施し、実態を把握するとともに、早期の支援につながるよう努めます。
- (2) 就学時健診や就学に係る教育相談、教育支援委員会の充実を図ります。
- (3) 発達障がい早期総合支援推進地域協議会や同地区部会の充実を図ります。
- (4) 健康推進課や社会福祉課、市社会福祉協議会の「こどものことばとこころの相談室」、専門医、県立駒林特別支援学校など関係機関との連携を促進します。
- (5) 小・中学校においては、児童生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達段階等に応じた教育課程の編成・実施となるよう指導助言を行っていきます。
- (6) 教職員や介助員等の資質向上のため、発達障がいに関する研修の機会充実に努めます。

---

## 第8項 快適な学習・生活環境整備及び長寿命化の推進

---

### 1. 現状と課題

---

快適な学習・生活環境整備の課題の一つでありましたエアコンの設置については、全小中学校で令和元年度からの使用環境が整いました。トイレの改修については、洋式化や乾式化が未整備となっている学校施設の整備内容や整備時期を精査していく必要があります。

老朽化対策については、これまで竣工後、概ね50年程度で建て替えが行われてきましたが、財政状況が厳しさを増す中、可能な限り今ある学校施設を生かし、コストを抑えながら新築同等の学習・生活環境が確保できる「長寿命化改修」への切り替えが必要となっています。

また、各小学校のプール施設についても老朽化が進んでおり、個別の改修や長寿命化に限らず、市全体として学校プール事業実施の方向性を決定する必要があります。

このため、今後は令和元年度に策定した学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設整備全般について、事業費や事業年度計画を企画・財政部局と協議・調整を行い、市全体の事業計画の中に学校施設整備をしっかりと位置付けていくことが課題となっています。

### 2. 課題解決に向けて

---

- (1) 学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設整備を計画的に実施します。
- (2) 長寿命化改修に当たり、単なる老朽改修ではなく、施設の機能や性能を向上させて時代のニーズに即した施設に再生します。
- (3) 文部科学省の交付金等財源確保や地方債の充当に対して財政担当と連携します。
- (4) 施設改修工事を進めるに当たり、学校の授業・諸行事との調整や生徒・教職員はもとより、工事関係者の事故がないよう安全管理を徹底します。
- (5) 工事の進捗状況や改修状況を把握するとともに、施設改修の必要性を認識してもらうため、教育委員会や市議会総務文教常任委員会の視察等を適切に実施します。



## 第2節 II 人生を豊かにする生涯学習の推進（生涯学習課）

### 第1項 社会教育・公民館に関すること

#### 1. 家庭教育

市教育振興基本計画 Ⅲ-3-多様な体験活動や心豊かで思いやりのある健全な青少年の育成

…-(1)家庭の教育力向上

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
家族体験教室	園児・小学生の親子を対象に、親子の触れ合いを深め、子どもの社会性や豊かな心を育むため、自然体験や社会体験、異年齢同士の交流等の活動を行いました。	12月17日（土） 「ミニ門松作り」	五頭連峰 少年自然の家	8家族 26人
		1月14日（土） 「まゆ玉飾り作りとおはなし会」	水原公民館	8家族 22人
		2月4日（土） 「かんじきハイク」	五頭連峰 少年自然の家	10家族 34人
家庭教育 ゆめ事業	市内における家庭教育関連の課題に向けて講演会や講座を実施しました。	6月25日（土） 「親子みそ作り体験」	安田公民館	15人
		【中止】7月9日（土） 「親子でメディア利用について考えてみよう」	中止	中止
		10月2日（日） 「家族で楽しむ秋の音楽会 in 自然の家」	五頭連峰 少年自然の家	58人
		【中止】12月10日（土） 「自家製みそで豚汁パーティー」	中止	中止

#### 成果・課題等

（成果）家族体験教室および家庭教育ゆめ事業は、コロナ禍においても多くの市民の参加があり、充実した講座を実施できました。

（課題）コロナ禍においても実施できる講座の検討が必要と感じました。

#### 2. 成人教育

市教育振興基本計画 II-1 生涯にわたって学ぶ場と成果を社会に生かす機会の充実

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
公民館主催事業 まちづくり塾 公民館成人講座 ※塾のコンビニ 事業	個人の生きがいがづくりのため、知る楽しさ・学べる喜びを感じ、人との出会いやつながりを広げる機会を提供しました。	5月15日（日） 「朝ヨガ in 安田」	コミュニティセ ンター城の内	21人
		6月19日（日） 「寄せ植え体験教室」	安田交流 センター	17人
		9月3日（土） 「生き生き暮らすか たづけ講座」	水原公民館	20人

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
		9月25日(日) 「大工さんと作る簡単DIY」	安田交流センター	4人
		【中止】10月16日(日) 「まち歩きガイドと巡る瓦ロード」	安田交流センター	※中止
		11月26日(土) 「からだの中から元気にする糍講座」	水原公民館	19人
		2月19日(日) 「お部屋を飾るスワッグ作り」	安田交流センター	12人
公民館事業 「キッズ料理教室」	子どもの体験活動を通じ、食に興味を持つ機会を提供しました。	6月18日(土)	水原公民館	8人
		7月2日(土)	安田交流センター	8人

成果・課題等

(成果) 新型コロナウイルスの感染拡大防止のために1講座を中止としましたが、昨年度よりも多くの講座が開催でき、コロナ禍においても感染症対策を実施したうえで円滑に事業が実施できました。  
(課題) コロナ禍後においても継続して学習の場を提供する必要があります。

### 3. 高齢者教育

#### 市教育振興基本計画 II-1 人生を豊かにする生涯学習の推進…(1) 学びの場充実と学習支援

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
山手学級(安田地区・学級生29人)	地区の高齢者を対象に、老後の生活を明るく楽しく暮らすため、健康管理・一般教養・社会見学などの学習を通して、仲間づくりを行いました。	年9回開催	安田地区施設	118人
寿学級(京ヶ瀬地区・学級生31人)		年8回開催	京ヶ瀬地区施設	151人

成果・課題等

(成果) コロナ禍でも多くの参加者があり、充実した講座を実施できました。  
(課題) コロナ禍においても休止せず実施できる講座内容の検討が必要と感じました。

### 4. 女性学級

#### 市教育振興基本計画 II-1-人生を豊かにする生涯学習の推進…(1) 学びの場充実と学習支援

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
さわやか女性セミナー(安田地区・学級生16人)	実年女性を対象に、地域における役割や奉仕・趣味等の学習を通して、仲間づくりを行いました。	年9回開催	安田地区施設	82人
さわらび学級(笹神地区・学級生27人)		年7回開催	笹神地区施設	130人

成果・課題等
(成果) 女性学級の事業は、コロナ禍にでも多くの参加があり、充実した講座を実施できました。 (課題) コロナ禍においても実施できる講座の検討が必要と感じました。

## 5. 利用促進事業

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加団体数
公民館利用 促進事業 マンスリー教室	利用団体・クラブ等を対象に、学習の場として公民館の積極的な活用を促進するため、学習相談を受け付けました。	随時 学習相談	各公民館	20 団体

成果・課題等
(成果) 20 団体から協力を得て、公民館の積極的な活用が促進できました。

## 6. 支援・育成事業

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
子ども会 連絡協議会支援	子ども会連絡協議会の主体活動を支援し、育成・発展を図りながら、青少年の健全育成を推進しました。	通年	子ども会 連絡協議会	
市内文化協会等 支援	文化協会の主体的活動を支援し、育成・発展を図るとともに、文化への関心を高め、文化活動の活性化を推進しました。文化協会の統合に向け、文化団体代表者会議を開催して調整を図りました。	通年	安田文化協会 京ヶ瀬文化協会 水原文化協会 笹神地区文化協会	—
社会教育 認定団体支援	市内の団体を対象に、社会教育の振興を図るため、社会教育関係団体の認定を推進しました。	通年	市内	認定期間： R4. 4. 1～R6. 3. 31 79 団体

成果・課題等
(成果) 社会教育認定団体数は昨年度よりも4団体減少という結果となりました。 (課題) 人口減少や高齢化、新型コロナウイルスの影響により、社会教育認定団体の会員数が減少し、活動自体に支障が生じています。

## 7. 学習情報提供

### 市教育振興基本計画 II-2 豊かな地域文化の創造・発展と担い手育成

#### …-(2) 地域文化を継承する人材の育成

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
講師紹介	各種団体や学校等の研修・講座への活用を図るため、市主催の講演や教室等の講師の情報をまとめて紹介しました。	通年	※「阿賀野市生涯学習ガイド（指導者編）」 令和4.5年度版	—

事業名	事業内容	期 日	冊子名	備考
サークル 団体紹介	市民の生涯学習に対する支援のため、市内で活動しているサークル・団体の情報をまとめて紹介しました。	通年	※「阿賀野市 生涯学習ガイド(サークル・団体編)」 令和3・4年度版	—

成果・課題等
(成果) 生涯学習ガイドを作成することで、広く市民にサークル活動の内容を周知できました。 (課題) 今後も継続して情報提供をする必要があります。

## 8. 芸術・文化活動（文化祭）

### 市教育振興基本計画 II-3 健康でうるおいのある市民生活に向けた芸術・文化・スポーツ振興と 拡充…(1)芸術・文化活動の充実

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
安田芸能 のつどい	一般市民の芸術文化活動への関心と水準を高めるため、「阿賀野市文化祭」と称して鑑賞・発表の機会を提供します。  ※新型コロナウイルス感染防止のため、安田地区と笹神地区は実施を見送りました。	10月9日(日)	安田交流センター	84人
安田文化祭		11月3日(木) ～4日(金)	安田交流センター	505人
京ヶ瀬文化祭		11月2日(水) ～3日(木)	市立図書館	231人
京ヶ瀬芸能祭		11月13日(日)	京和荘	70人
水原芸能発表会		10月16日(日)	水原公民館	75人
水原文化祭		11月4日(金) ～6日(日)	水原総合体育館	573人
市民茶会		中止	—	—
音楽コンサート		中止	—	—
笹神文化まつり 作品展		11月3日(木) ～5日(土)	ふれあい会館	439人
笹神文化まつり 芸能発表会		中止	—	—

成果・課題等
(成果) 昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により4地区が中止となりましたが、今年度は4地区全てで実施することができ、多く参加者が来場し、円滑な運営が実施できました。 (課題) 新型コロナウイルスの影響や高齢化により、団体活動の休止または縮小が多く見受けられるため、対策が必要と感じました。

## 第2項 図書館事業に関すること

### 1. 全館共通

市教育振興基本計画 II 人生を豊かにする生涯学習の推進

…1-(1)学習機会や実践活動の充実、3-(1)芸術・文化活動の充実

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
ブックスタート	乳児の保護者を対象に、図書館司書が親子の触れ合いや絵本の重要性を保護者に説明し、絵本リーフレットの配布や読み聞かせを実施しました。 共催：健康推進課	4 か月児健診時 (年 12 回)	水原保健センター	210 人
読み聞かせ事業～はじめての絵本プレゼント～ ※地域子育て創生事業	乳児の保護者を対象に、新生児訪問の際、絵本リストと返信用ハガキを配布。4 か月健診受診後に市立図書館で選択した絵本を配布し、館内の案内と読み聞かせを実施しました。	通年	市立図書館	配布数 204 人
読書推進活動	目標の読書冊数を設定し、達成した児童に認定証を年度末または随時交付しました。 目標読書冊数： 低学年：50 冊以上 中学年：30 冊以上 高学年：20 冊以上	4 月～2 月	小学校	交付数 1,547 枚
ボランティア講座	○読み聞かせ入門講座 講師：伊藤美智子氏を迎えて開催しました。	9 月 9 日、16 日、 30 日、 10 月 7 日、14 日	市立図書館	9 人
パワーアップ事業	親と子が一緒に本を楽しみ、子供の成長を支える学習機会の充実をめざして、児童書の購入、児童コーナー改修、授乳室設置、館内トイレ洋式化、館内照明改修、児童コーナー書架購入、一般書架棚板増設	通年	市内図書館	児童書 977 冊、館内トイレ洋式化 6 台、回転式円形書架 1 台、既存書架棚板増設 25 枚

#### 成果・課題等

(成果) 読書環境、学習環境が整備されました  
(課題) 少子化の影響により、参加者数・交付数は徐々に減少しています。親子の読み聞かせを推進し読書層を掘り起こす必要があります。

## 2. 市立図書館

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等	
おはなしのじかん	幼児・保護者を対象に、絵本の読み聞かせやおはなし会、手遊びを新型コロナウイルス感染の状況を見つつ行いました。共催：読み聞かせボランティア もこ・もこもこ、ぐるんぱ	毎週土曜	市立図書館	42 回 367 人	
図書館 キッズウィーク 2022	新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底し、子どもの読書週間に合わせて「おさかな大集合」をテーマに絵本・児童書を展示、館内を装飾しました。	4月22日～ 5月8日	市立図書館	期間中来館 者数 1,882 人	
※図書館 キッズウィーク 2022	「未来のチカラ in阿賀路びより ステージ」 (親子音楽鑑賞 会)	新潟日報主催「未来のチカラ in阿賀路」関連事業 三条市の音楽グループ「ら らら♪音楽隊」による親子向 けミニコンサートを実施しま した。	4月29日	市立図書館 ギャラリー	47 人
	プログラミング体験	おはなしプログラミングを使用して、小学校低学年から参加できる簡単コースを開催しました。	市立図書館	4月20日～ 5月8日	26 人
	おはなしマラソン さかなのまき	キッズウィーク 2022 のテーマおさかなにちなんだおはなしや手遊びを実施しました。	市立図書館	5月1日、3 日、5日	37 人
	シネマクラブ	幼児や小学生、保護者等を対象に、子ども向けの映画鑑賞会を行います。新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施しました。	7月31日、 8月7日、 10日	市立図書館 視聴覚室	64 人
※図書館 夏の子ども フェスタ2022	子ども 図書館員	小学校の中高学年を対象に、カウンター業務や返却・書架整理、本の装備、テーマ展示、ポップ作りを行います。新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小し実施しました。	8月6日	市立図書館	5 人
	夏のおはなし会	小学生を対象に、おはなし会を行います。新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施しました。	8月7日	市立図書館 ギャラリー	8 人

	事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
※図書館夏の子どもフェスタ2022	夏休み工作会	小学生を対象に、様々な工作を行います。新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施しました。	8月18日	市立図書館 ギャラリー	19人
	プログラミング体験	プログラミングアプリ「スクラッチ」を使用した「タッチゲーム」を参加者と作成しました。	7月30日～ 8月14日	市立図書館	36人
	ビンゴでさかなつり	本の貸出冊数とビンゴゲームを合わせ、ビンゴが揃ったらミニゲーム(さかなつり)ができるカードを配布しました。	7月19日～ 8月30日	市立図書館	カード配布 枚数 244枚
	雑誌・古本市	保存期間が切れた雑誌・受入不可寄贈図書を配布しました。感染拡大防止を徹底して実施しました。	11月2日、 3日	市立図書館 ギャラリー	京ヶ瀬文化祭と同時開催
	おひぎのうえでおはなし会 ※「おはなしのへや」PR事業	乳幼児を保護者向けに、絵本の読み聞かせとわらべ唄を実施しました。	12月1日～ 18日	市立図書館 「おはなしのへや」	79人
	新春シネマクラブ	今年度購入した大型モニターでDVDを上映しました。	1月21日	市立図書館 視聴覚室	55人
	おはなしのじかん in 分田小	全校生徒を対象に、ブラックシアター、絵本の読み聞かせやおはなし会を実施しました。	年7回 (昼休み)	分田小学校	190人
	おはなしのじかん in 安田小		年6回 (昼休み)	安田小学校	359人
	おはなしのじかん in 駒林特別 支援学校	小学部・中等部・高等部の児童生徒を対象に、絵本の読み聞かせを実施するとともに、わらべ唄を楽しみました。	年6回 (昼休み)	駒林特別支援学校	82人
	出張おはなし会	未就園児や保護者を対象に、出張おはなし会を実施しました。	4月～3月	京ヶ瀬子育て支援センター	4回 53人
			4月～2月	子育て支援センターのんのん	8回 41人
			4月～3月	子育て支援センターぽけっと	2回 8人
			4月～3月	子育て親子カフェ花どけい	10回 139人

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
出張おはなし会	全学年の児童・生徒を対象に、出張おはなし会を実施しました。	11月17日 ・18日 (読書旬間)	水原小学校	549人
		11月1日 ・4日 (読書旬間)	安野小学校	189人
		11月10日 ・11日 (読書旬間)	笹岡小学校	184人
		11月15日	分田小学校	121人
		11月28日 ～12月1日 (4日間)	水原中学校	472人
	園児を対象に、出張おはなし会を実施しました。	10月13日	京ヶ瀬幼稚園	59人
	親子を対象に、出張おはなし会を実施しました。	1月14日	まゆ玉作り (水原公民館)	20人
館内おはなし会	図書館見学等の来館時に、おはなし会を実施しました。	随時	市立図書館	47人

成果・課題等
(成果) 令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により中断したまま開催できない事業も少なからずありましたが、ほぼ例年どおり開催できました。
(課題) 少子化の影響により児童の参加者数は徐々に減少しています。令和5年度は参加者数の維持と、新型コロナウイルスの影響により中断した事業の復活が課題です。

### 3. 水原中学校市民図書室

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
おはなし こんにちは	幼児や保護者を対象に、おはなし会を実施しました。	毎月第2日曜	水原中学校	13回 71人
古雑誌市	保存期間が切れた雑誌の配布を行いました。	5月21日、 28日	市民図書室	—
※ エ ス タ 2 0 2 2 ※ 図 書 館 夏 の 子 ど も フ	おはなし会& パパッと工作会	8月1日	水原中学校	14人
	一日図書館員 体験	8月1日	水原中学校	7名

成果・課題等
(成果) 令和4年度は、新型コロナウイルスの影響も少なく、通常通り開室でき、事業の参加人数もコロナ前とほぼ同じ水準となりました。
(課題) 利用者が安心して来館できる環境作りに水原中学校と連携して取り組んでいきます。

#### 4. 安田図書館

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
安田 de シネマクラブ	幼児や小学生、保護者等を対象に、子ども向けの映画上映会を行いました。	8月1日	風とびあ	23人
おはなし会 in 安田文化祭	幼児や小学生、保護者等を対象に、絵本の読み聞かせを実施し、わらべうたを楽しみます。	11月3日		2人
雑誌市・古本市	保存期間が切れた雑誌・受入不可寄贈図書を配布しました。	11月3日、4日		安田文化祭 と同日開催

##### 成果・課題等

(成果) 令和4年度はほぼ例年どおり開催されましたが、コロナ以前の状態に回復するまでには至りませんでした。

(課題) 令和5年度はコロナ以前の参加人数を目指します。

#### 5. 笹神図書館

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
朝のおはなし会 昼のおはなし会	全学年の児童を対象に、絵本の読み聞かせや手あそび等を行いました。	年12回	笹岡小学校	368人
		年9回	神山小学校	231人
雑誌市・古本市	保存期間が切れた雑誌・受入不可寄贈図書を配布しました。	11月3日、4日 5日	ふれあい会館	笹神文化まつりと同時 開催
笹神 de シネマクラブ	幼児や小学生、保護者等を対象に、子ども向けの映画上映会を行いました。	8月18日		4人

##### 成果・課題等

(成果) 令和4年度はほぼ例年どおり開催されましたが、コロナ禍以前の状態に回復するまでには至りませんでした。

(課題) 令和5年度はコロナ以前の参加人数を目指します。

#### 6. 図書館だよりの発行等

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
図書館だよりの発行等	新着案内の発行や、広報あがのおしらせ版・図書館ホームページに各種事業案内を掲載し、図書館の情報を発信しました。	随時	全市	—

##### 成果・課題等

(成果) 図書館の情報を適切に発信できました。

(課題) 令和5年度はホームページをさらに利活用していきます。

## 第3項 スポーツに関すること

### 1. 各種大会

市教育振興基本計画 II-3 健康でうるおいのある市民生活に向けた芸術・文化・スポーツの振興と拡充…3-(2)スポーツに触れ合う機会の提供

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
第18回 ナイターソフト ボール大会	6月4日(土) ～	水原野球場	中学生 以上	参加チーム数：12チーム
スポーツ& レクリエーション フェスティバル 2022	【中止】 6月12日(日)	水原総合体育館	一般	6月12日(日)開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、中止しました。
夏のあそび虫 (スポーツキャ ンプ)	8月6日(土) (日帰り)	五頭連峰 少年自然の家	一般	参加者：61人
かけっこチャレ ンジ2022	10月9日(日)	水原中学校	未就学児 から一般	参加者：143人
冬のあそび虫	1月15日(日)	安田体育館	一般	参加者：115人
第17回 ビーチボール バレー大会	2月5日(日)	笹神体育館	中学生 以上	参加チーム数：8チーム

#### 成果・課題等

(成果) スポーツ大会等への参加者数は9,096人となり、前年度より6.7ポイント減少しています。また、週1回以上、スポーツに親しんでいる市民の割合は13.9%となり、対前年度より0.3ポイント増と横ばいの状況です。いずれも新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりスポーツ大会の中止等が影響していると考えられます。

(課題) 新型コロナウイルス感染対策が徐々に緩和されてきており、市民の運動行動意欲が低下しないよう、運動する機会の提供及び場所を確保していくことが必要です。

### 2. スポーツ教室・講習会・研修等

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
トレーニング 機器利用説明会	①毎月第1水曜・第3 日曜(夜間) ②毎月第2火曜(夜間) ③平日(日中)	①水原総合体育館 ②笹神体育館 ③両体育館	16歳 以上	水原総合体育館 145人 笹神体育館 56人
フォービーチ 教室	10月19日(水)	京ヶ瀬小学校	小学生 親子	参加者：89人
ペアサッカー 教室	6月25日(土)	京ヶ瀬小学校	小学生 親子	参加者：84人
	8月20日(土)	堀越小学校		参加者：44人

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
スポーツ 鬼ごっこ教室	8月20日(土)	堀越小学校	小学生 親子	
ボッチャ講習会	9月23日(金)	笹神体育館	一般	参加者：62人 ※ロータリークラブ主催 ボッチャ交流会に参加
ゆめづくりスポ ーツ教室(バス ケットボール)	8月30日(日)	水原総合体育館	スポー ツ少年 団	参加者：45人
浮いて待て 講習会	7月13日(水) ～20日(水)	安田小学校他	小学1 年～6 年生	参加者：715人
B&Gキッズ 水泳教室	【中止】 7月～8月	安田B&G 海洋センター	小学1 年～4 年生	【中止】 指導者確保困難のため中止
B&G初心者 カヌー教室	7月21日(木)、28日 (木)、8月4日(木)、 6日(土)	安田B&G 海洋センター	小学生	参加者：延べ16人
	8月27日(土)	阿賀町三川B& G海洋センター艇庫	小学生	参加者：13人
水辺の安全教室	7月～8月	安田B&G 海洋センター	こども 園等	参加者：延べ38人
体力・運動能力 調査(スポーツ庁 新体カテスト)	5月～7月 9月～12月	水原総合体育館	65歳 以上	5月16名 9月15名

#### 成果・課題等

(成果) 新型コロナウイルス感染対策が徐々に緩和され、昨年度に比べ実施事業が格段に増えました。

(課題) 今後もスポーツ指導及び教室に関する情報を小学校等に提供し、PTAなどの学年事業での取り組みを促すことが必要です。

### 3. 共催事業関係・その他

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
新潟県スポーツ フェスティバル 下越・新潟地区 ソフトバレー ボール大会	—	笹神体育館	新潟・下越 市町民 全般	【中止】4月開催予定でしたが、 新型コロナウイルス感染防止 のため、中止となりました。
第75回新潟県 駅伝競走大会	10月16日(日)	安野小学校前等		21位(全26チーム中)
第19回市民 元旦マラソン	1月1日(土)	水原総合体育館 (スタート・ゴール)	一般	参加者：198人 (1.2km：93人) (3.0km：105人)

成果・課題等
(成果) 県スポーツフェスティバル下越・新潟地区ソフトバレーボール大会は、コロナ禍の影響で昨年同様中止となりました。市民元旦マラソンは、前年度と同数の198人の参加がありました。 (課題) 新型コロナウイルス感染対策を講じながら、開催のため支援を継続する必要があります。

#### 4. スポーツ推進委員関係 地区・ブロック事業等

##### ○地区ブロック事業

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
下越地区スポーツ推進委員協議会「総会・総合研修会」	4月23日(土)	胎内市	スポーツ推進委員	スポーツ推進委員：2人 市職員：1人

成果・課題等
(成果・課題) 下越地区のスポーツ推進に向けた活動を今後も行っていきます。

##### ○その他

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
第61回新潟県スポーツ推進委員大会	10月22日(土) ～23日(日)	新潟市	スポーツ推進委員	スポーツ推進委員：3人 市職員：1人

成果・課題等
(成果・課題) 新潟県のスポーツ推進に向けた活動を今後も行っていきます。

#### 5. 新潟アルビレックス女子バスケットボールクラブ連携事業

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
春の全国交通安全運動	4月6日(水)	市内	一般	選手3人
スポーツ&レクリエーションフェスティバル	—	水原総合体育館	一般	感染防止のためイベントが中止となりました。
だしの風まつり	—	城ノ内野球場	一般	感染防止のため、イベントが中止となりました。
秋の全国交通安全運動	9月22日(木) 9月30日(金)	市内	一般	いずれも選手3名
女子バスケットボールWリーグ公式戦	10月22日(土) ・23日(日)	水原総合体育館	一般	22日：630人 23日：684人

成果・課題等
(成果) バスケットボールの普及と競技力の向上、青少年育成や健康づくりなどの各分野において、相互に連携・協力することで「バスケットボールを核としたスポーツによるまちづくり」に寄与することを目的としており、コロナ禍の中、感染対策を講じ連携事業を実施しています。 (課題) 今後も目的達成に向けた連携事業を行うことが必要です。

## 第4項 文化財の保護に関すること

### 1. 文化財活用事業等

市教育振興基本計画 II-2 豊かな地域文化の創造発展と担い手育成…(1)文化財の保護・活用  
III-1 地域の産業・文化・伝統の学びを通じた阿賀野市を愛する心の育成…(2)地域学習の推進

事業名	内容・目的	期 日	会 場	参加者数等
夏休み 子ども博物館 ※博物館事業	①小中学生を対象に、夏休み期間中、博物館施設を無料開放し、学習を支援しました。 ②友の会天文部の協力により高性能天体望遠鏡による天体観測を行いました。	①夏休み期間 ②7月9日(土) 8月6日(土)	①吉田東伍 記念博物館 ②市外(秋葉 区・屋外) 市内(保田地 内・屋外)	①6人 ②延べ43 人
収蔵資料の 保存・管理 ※博物館事業	収蔵・寄贈資料の整理・分類 ・管理・公開準備を行いました。	通年	吉田東伍 記念博物館	—
学校教育支援・ 生涯学習支援 ※博物館事業	学校や一般を対象に、児童生徒の総合学習・郷土学習等の支援や一般の生涯学習研修等での施設利用・講師派遣要請等への対応を行いました。 利用者: 安田小学校・聖籠町高齢者学級他	通年	吉田東伍 記念博物館 ほか各講演先	—
他館、大学研究室等の研究機関との連携・相互支援と報道機関等への情報提供 ※博物館事業	関係館や大学、市町村を対象に、他館や大学研究室等への資料の貸し出しや研究成果の提供・協力を行いました。 報道機関対象に、情報提供を行いました。 連携先:新潟県立歴史博物館他	通年	新潟県立歴史 博物館・吉田 文庫・東京大 学史料編纂 所・法政大学 文学部地理学 科ほか	—
研究・活動成果 の報告・公開・ 刊行 ※博物館事業	刊行物やインターネット等により、研究・活動成果の公開・普及を行いました。	通年		—
博物館・ 付属生家の 維持美化活動 ※博物館事業	安田商工会女性部・友の会により、吉田東伍記念博物館の敷地や付属吉田東伍生家、日本庭園などの維持・美化奉仕活動を行いました。	6月2日(日) 10月2日(日)	吉田東伍 記念博物館  付属 吉田東伍生家	延べ21人
開館25周年記念 市民文化講 演会 ※博物館事業	開館25周年記念市民文化講演会「古地図と地形図から読む阿賀野川」を開催しました。	10月23日(日)	安田交流セン ター風とびあ	76人

事業名	内容・目的	期 日	会 場	参加者数等
考古資料展示 歴史資料展示 民俗資料展示 ※文化財普及 公開事業	①阿賀野市の近世・近代を理解してもらうため、代官所の関係を中心に、江戸期の文書類や歴史・民俗資料を展示しました。 ②水原ふるさと農業資料館において「水原の山口人形展」の展示を行いました。	①②通年	①水原代官所 ②水原ふるさと農業資料館	①水原ふるさと農業資料館 4,307人 ②水原代官所2,231人
	県内外の博物館等への資料貸し出しを行いました。 貸出資料： ①二瓶コレクション ②石船戸遺跡出土資料 ③発久遺跡出土資料	①7～11月 ②9月～12月 ③10月～1月	①金沢文化振興財団金沢湯湧夢二館（石川県金沢市） ②長岡市馬高縄文館 ③長岡市立科学博物館	—
遺跡発掘調査 ※埋蔵文化財 保護事業	令和4年度は、発掘調査はありませんでした。			
開発工事立会い、 試掘確認調査・ 分布調査 ※埋蔵文化財 保護事業	公共工事・民間開発に伴い、遺跡等の工事立会や試掘確認調査、分布調査を行いました。 対象者：新発田地域振興局 調査内容： （ほ場整備など試掘調査、分布調査2件）	通年	開発現地	—
遺跡発掘調査後の 整理作業 ※埋蔵文化財 公開事業	発掘調査等で出土した遺物などを整理し、成果をまとめました。 土橋遺跡発掘調査整理（資料整理） 土橋北遺跡発掘調査（その7）整理（資料整理・報告書刊行）	通年	遺跡整理仮設事務所	—
指定文化財の状況確認・説明看板の修復 ※文化財保護 事業	適切な保護・管理を図るため、個人所有の指定文化財について状況確認や登録有形文化財に付随する説明看板等の作成を行いました。	状況確認 6月 看板作成 3月	看板作成	
学校の学習活動への支援等 ※文化財等を活用した学校教育支援事業	先人達が築いてきた市の歴史・文化・風土を次世代へ継承するため、博物館等文化施設を小中学校の総合学習の場として提供しました。	①②通年	①吉田東伍記念博物館 ②歴史民俗資料館	①1校 ②6校

事業名	内容・目的	期 日	会 場	参加者数等
市民主催の学習会への講師派遣や情報提供 ※文化財を活用した生涯学習活動支援事業	一般や小中学生、歴史研鑽団体などを対象に、市民が文化財を身近に感じ、保護意識高揚を図るため、市の歴史・文化・風土に関する市民（団体）主催の学習会等に講師派遣や情報提供を行いました。	12月	堀越小学校	堀越小学校 6年生18人

成果・課題等

(成果) 遺跡発掘調査により多くの出土品がありました。  
(課題) 出土品や文化財を活用する上で市民等が見学等活用しやすくなるよう PR や看板の設置が必要となっています。

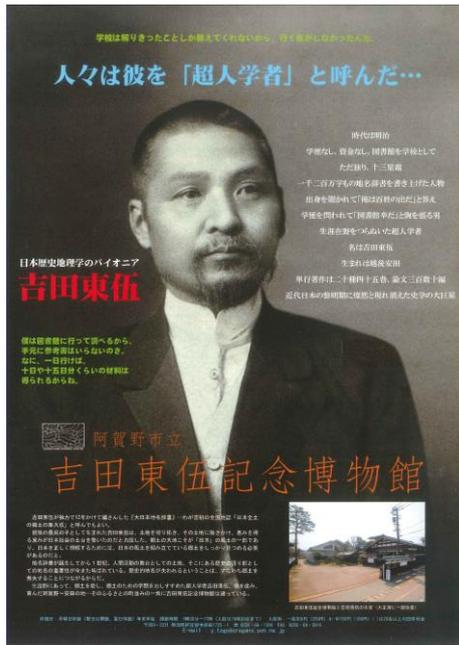
## 2. 博物館・資料館運営事業

### 市教育振興基本計画 II-2 豊かな地域文化の創造発展と担い手育成…(1)文化財の保護・活用

事業名	内容	期 日	会 場	参加者数等
吉田東伍記念博物館運営事業	吉田東伍の著書や原稿、遺稿を中心に展示され、「郷土とは何か」を考える学習施設となっています。 10月から2月の間、開館25周年記念 企画展カラスざんまいの日本画家と夭折の帝展入選画家「長井一禾とその息子大有」を開催しました。	通年	吉田東伍記念博物館	1,698人
歴史民俗資料館運営事業	市内の各資料館の収蔵品を集約・整理し、わかりやすく親しみやすい展示をしました。 7月から企画展「縄文人と算数・数学」を開催し、出土品等の展示をしました。	4月～11月	歴史民俗資料館	932人

成果・課題等

(成果) 吉田東伍記念博物館・歴史民俗資料館において企画展等を開催しました。  
(課題) 資料館への認知度が不足しているため、さらなる PR に努め、収蔵品等の整理及び展示を進め市民等に親しまれる博物館・資料館とする必要があります。



歴史民俗資料館内

<阿賀野市内 指定文化財件数>

国指定文化財 13件、県指定文化財 13件

市指定文化財 48件

<阿賀野市内 資源化有効物件>

区分	資源化有効物件
史 跡	越後府跡・水原代官所跡・城跡(水原・安田・山浦・堀越・笹岡)ほか
天然記念物	瓢湖・珠数掛ザクラ・天然木ほか
埋蔵文化財	上野林遺跡・ツバタ遺跡・石船戸遺跡・猫山遺跡・発久遺跡・境塚遺跡・華報寺墓跡出土品ほか
人 物	吉田東伍・市島春城・水原常陸介親憲ほか
彫刻・石仏・墓	阿弥陀如来像(座像)・代官所関係墓石群(長楽寺)・板碑(華報寺)ほか
伝統芸能・祭事	神楽・神社例祭ほか
工 芸 品	山口人形ほか
民俗資料	現在の展示収蔵資料
建 造 物	清廣館・環翠楼・石井家・旧佐藤家米蔵・旧齋藤邸・吉田東伍生家ほか
神社仏閣	華報寺・無為信寺・梅護寺・観音寺・孝順寺ほか
温 泉	五頭温泉郷

## その他の事業（学校教育課・生涯学習課）

### 休日の部活動の地域移行の推進

少子化による部活動減少を受けて、生徒の運動や文化体験機会の確保と教員の働き方改革の推進

事業内容	成果等
少子化による部活動数の減少や教員の働き方改革のため、国のガイドラインに沿って、実施計画の策定、推進会議等を開催し地域移行を進めました。	○検討会議・移行推進会議 2回開催 ○地域クラブ団体打合せ(3団体)1回開催 各関係団体と部活動の地域移行について情報共有や方向性の検討を行い、次年度の事業推進につなげました。
(課題) 指導者の確保や今後の受益者(保護者)負担の在り方についての整理が必要です。	

### 原爆絵画展・広島平和記念式典中学生派遣事業

阿賀野市非核平和都市宣言に基づく、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を考える機会の提供

事業内容	成果等
原爆絵画展(広島平和記念資料館所蔵資料) 令和4年7月27日～8月15日 市内4か所 広島平和記念式典中学生派遣事業 派遣生徒12人(平成29～令和元年度8人) 令和4年8月5日～8月6日 令和2,3年度・・・広島市募集無し(感染防止)	○原爆絵画展入場者数 10,910人 (前年5,656人) 公民館ほか ○広島平和記念式典中学生派遣事業 派遣者数を各校3人に増やしました。平和記念式典参列のほか資料館見学、千羽鶴奉納や献花等、平和学習を行いました。
(課題) 原爆絵画展は、事業浸透してきましたが、今後も広報や市のHP、ポスター掲示やチラシ配布など効果的な情報発信等が必要です。広島平和記念式典中学生派遣事業は、12人に派遣者数を増やしたため、行程等を見直しています。	



## 第2章第2節 生涯教育施策の課題と対応（生涯学習課）

---

令和3年3月、阿賀野市総合計画（後期基本計画）のまちづくりの後期目標を踏まえ、「ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育」を新たな基本理念とする阿賀野市教育大綱並びに阿賀野市教育振興基本計画を策定しました。

教育委員会では、この計画に基づき、学校や地域の実情を踏まえ、学校教育課と生涯学習課の分担と連携を軸に、各種の施策・事業を推進してきました。

阿賀野市教育振興基本計画のなかで、阿賀野市教育の基本理念の具現化に向けて、生涯学習・社会教育の基本方針を「人生を豊かにする生涯学習の推進」とし、令和4年度も事業を推進してきました。

ここでは、令和4年度に実施した事業や今後の重点的な課題に絞って、今後に向けての問題点や課題と対応を総括しました。

## 第2節 人生を豊かにする生涯学習の推進（生涯学習課）

---

### 第5項 生涯学習振興行政の推進について

---

#### 1. 現状と課題

---

阿賀野市では、平成25年度から政策実効性の向上を図り、関係部局が連携しながら戦略的な取り組みを推進するため、部制を導入した組織改革が行われました。

この改正により、生涯学習課は教育委員会から市長部局に移管され、補助執行という形で今までの教育事務を生涯学習課が行うことになりました。市長部局内の連携強化や効率的な予算執行等により、迅速かつ一体的な事業推進やまちづくりの推進体制の強化が図られています。

生涯学習を推進・振興する役割や意義をしっかりと認識し、行政内部や学校・地域との連携、事業の見直しを図りながら、課題解決に向けた効果的な事業展開と成果を発揮することが求められています。

#### 2. 課題解決に向けて

---

生涯学習課に係る事務の連携・移管については、市民協働によるまちづくりの総合的な推進等の観点から、政治的中立性の確保等を勘案しつつ、市長部局と教育委員会との権限分担の弾力化が求められていることを理解し、具体的な内容について十分な検討・協議を行ってきました。

阿賀野市が掲げている重点方針「子ども育成支援の充実」の一環として、塾やスポーツ等の習い事がなく、家に帰っても勉強を教える家族が帰宅していない小学5・6年生への学習支援事業「放課後スクール」を市内4会場で、塾に通っていない中学生を対象に学習支援を行う「温故塾」を市内4会場で開催し、放課後の多様な過ごし方の提供を行うなど、政策への一体的な事業を展開しています。

今後も生涯学習振興行政の推進役として、行政内部と学校との連携を深めながら政策課題に取り組むとともに、地域づくりの主役である市民の主体的な学びを呼び起こしながら人づくりを推進します。

---

## 第6項 生涯学習課施設の整備・再編

---

### 1. 現状と課題

---

阿賀野市は、平成16年の町村合併以来、基本的に旧4か町村の公共施設をそのまま引き継いで維持管理を行っています。

生涯学習課においても、数多くの生涯学習施設・社会体育施設を所管・運営していますが、昭和40年代から50年代にかけて整備されたものが多く、老朽化の進展とともに維持管理費が増加する傾向にあります。

このため、施設の目的や利用実態・効果等を検討し、身の丈に合った施設の再編に取り組みながら、事業効果を上げていくことが緊急の課題であります。

### 2. 課題解決に向けて

---

施設再編については、生涯学習課の所管施設のみならず、大局的見地に立って市が保有する全施設の計画策定が必要であるとの考えから、平成24年度に市長部局において「公共施設再編整備検討委員会」が設置されて検討を行いました。平成25年度には施設を「コミュニティ施設」「教養施設」「スポーツ・レクリエーション施設」など10に区分し、利用頻度や利用エリア、老朽化の度合いなどを考慮して「現状維持」「移転」「改築」等の検討が行われました。平成27年度には、市公共施設再編整備計画を担当する部署として管財課が設置され、引き続き検討作業を行い、小学校の統廃合による施設利用についても協議が進展しました。平成29年2月には「阿賀野市公共施設等総合管理計画」が、また、令和4年11月には同計画の実施計画として「第1期アクションプラン」（令和4年度～令和8年度）が策定されました。

生涯学習課の所管施設では、第1期中の取組として6施設で運営改善や用途廃止検討等の方針が示され、令和4年度には城ノ内野球場の劣化箇所調査を実施しました。

その他、市立図書館の機能強化を図るため、令和3年～令和5年を実施期間とした「図書館パワーアップ事業」の一環として、照明のLED化や児童コーナーの改修等を行いました。

---

## 第7項 歴史・文化の資源化

---

### 1. 現状と課題

---

平成16年の町村合併により誕生した阿賀野市には、豊富な恵みをもたらす五頭連峰や大河阿賀野川を有する自然環境などにより、山紫水明の地で太古から特徴のある時代背景を望むことができます。この地に人が住み始めた痕跡は約2万数千年前に遡り、県内でも最古級のものでされています。市内には400を超える遺跡があり、各時代の生活の様子を伺うことができます。後世に残すべき遺産として、市指定文化財などを「知り・守り・生かす」ことが重要となっています。

水原地区には、江戸幕府直轄の代官所や越後府・水原県が置かれるなど、新潟県における主要な地となったことを背景に、各分野で全国に名を馳せる人物を輩出しています。

阿賀野市の歴史・文化・人物史を学び、顕彰していくことは、愛郷心や誇りへとつながるものであり、豊富な歴史・文化を多様な資源とし、さらに付加価値を高めて情報発信するなど、積極的な有効活用が求められています。

### 2. 課題解決に向けて

---

吉田東伍記念博物館では、開館25周年事業として企画展や市民文化講演会を開催するほか、小中学生を対象とした博物館事業など各種主催・共催事業も展開し、市民の文化意識の高揚と愛郷心の醸成を図りました。

また、令和3年4月に開館した歴史民俗資料館においては、旧山手小学校1階の教室を利用して5室に分けた常設展示のほか、令和4年度は、「縄文人と算数・数学」と題した企画展示も実施し、市内外から多数の来館者を迎え、好評を得た成果となっています。

遺跡関連では、開発に係る本発掘調査はありませんでしたが、資料整理や発掘調査の成果である報告書の作成・刊行を行いました。

これらの事業は、文化財の観光資源化や文化財保護、周辺環境を含めた総合的な普及活動に寄与できたと考えています。

### 第3節 III 地域協働による活動の推進（学校教育課・生涯学習課）

#### 第1項 地域協働・連携に関すること

##### 1. 地域と家庭教育

市教育振興基本計画 Ⅲ-1-地域の学びを通じた阿賀野市を愛する心の育成…(1)協力体制づくり  
Ⅲ-3 健全な青少年の育成

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
「子ども夢 フェスタ'22」 ふるさと 子ども絵画展 ふれあい ステージ ※地域人権啓発 活動活性化事業	園児・小中学生を対象に、 社会全体で子どもの人権を 育むため、子どもたちの積極 的な社会参加を図り、表現す る場を創出しました。 新型コロナウイルス感染防 止のため縮小開催しました。 共催：夢創造実行委員会	・ふるさと 子ども絵画展 11月26日(土) /27日(日)  ・ふれあいステージ 11月20日(日)	ふれあい会館 笹神支所	729 作品 展示  4 団体出演  入場者数 1,244 人

#### 成果・課題等

(成果) 昨年度より参加作品数は増加し、コロナ禍においても事業は継続し実施しました。  
(課題) 少子化の影響もあり大幅な参加者の増加は困難ですが、事業継続には現状の規模を維持  
していくことが課題です。

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
地域ふれあい クリーン作戦 主管:青少年育 成センター	一般市民を対象に、地域の大人と子どもが面識を深めるとともに、安全で明るく健全な地域づくりを行うため、自治会ごとの清掃活動と併せ、危険箇所の点検を行います。	4月17日(日)	各自治会	139自治会 4,686人

#### 成果・課題等

(成果) 昨年度よりも参加自治会及び参加者数は増加し、コロナ禍においても円滑に事業が実施できました。  
(課題) 燃えるゴミの回収方法や不法投棄ゴミの対応について対策が必要です。

## 2. 学校教育支援

### 市教育振興基本計画

- Ⅲ-1 地域の産業・文化・伝統の学びを通じた阿賀野市を愛する心の育成…(2)地域学習の推進  
 Ⅲ-2 家庭・地域と連携した学校づくりの推進…(1)社会に開かれた教育課程の推進  
 Ⅱ-1 生涯にわたって学ぶ場と成果を社会に生かす機会の充実…(1)学びの場充実と学習支援

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
総合学習等における講師紹介・資料提供	P T Aや一般市民を対象に、小中学校の教科・特別活動を支援するため、講師紹介や資料提供を行いました。	随時	教育施設 小中学校	—
通学バス利用学校応援事業	小中学校を対象に、図書館・博物館・資料館など生涯学習施設の見学・学習等の利用を促進するため、バスの借上費用を負担しました。	5月～3月	市立図書館	延べ7回 277人 小学校6校が利用
温故塾(無償塾)	塾に通っていない中学生を対象に、学力の向上を図るため、教員OB・塾講師・大学生が支援する学習の場を提供しました。	毎週土曜 前期：5～7月 後期：10～3月	安田交流センター 市立図書館 水原公民館 笹神保健センター	延べ人数 安田会場 215人 京ヶ瀬会場 33人 水原会場 63人 笹神会場 27人 計 338人
放課後スクール	塾やスポーツ等の習い事がなく、家に帰っても勉強を教えてくれる家族が帰宅していない小学校5・6年生を対象に、宿題や予習・復習などの自主学習を支援しました。	週1回 平日の放課後 前期：5～7月 後期：10～3月	安田交流センター 市立図書館 水原公民館 笹神保健センター	延べ人数 安田会場 188人 京ヶ瀬会場 一人 水原会場 133人 笹神会場 188人 計 509人

### 成果・課題等

(成果) 放課後スクールは昨年度より会場数が1つ減少し、また安田会場および水原会場がワクチン接種会場で開催できないケースが多くあり、合計参加者数は減少しました。  
 (課題) 参加状況は交友関係が大きく影響しており、前年度から継続利用する児童生徒も多い傾向はありますが、年度によって参加者の増減幅が非常に大きい現状です。

## 3. まちづくり支援

### 市教育振興基本計画 Ⅲ-1 阿賀野市を愛する心の育成…(2)地域学習の推進

#### Ⅱ-1 生涯にわたって学ぶ場と成果を社会に生かす機会の充実

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
はたちを祝う会	新成人を対象に、新たな門出を祝い、大人としての自覚を高めてもらうとともに、実行委員会を編成して企画や運営を担い、まちづくりを体験する機会を提供しました。	5月4日(水)	水原総合体育館	280人

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
公民館主催事業 まちづくり塾 公民館成人講座 ※塾のコンビニ 事業 <再掲>	個人の生きがいがいづくりのため、知る楽しさ・学べる喜びを感じ、人との出会いやつながりを広げる機会を提供しました。	5月15日(日) 「朝ヨガ in 安田」	コミュニティセンター城の内	21人
		6月19日(日) 「寄せ植え体験教室」	安田交流センター	17人
		9月3日(土) 「生き生き暮らすかたづけ講座」	水原公民館	20人
		9月25日(日) 「大工さんと作る簡単DIY」	安田交流センター	4人
		【中止】10月16日(日) 「まちあるきガイドとめぐる瓦ロード」	安田交流センター	※中止
		11月26日(土) 「からだの中から元気にする糶講座」	水原公民館	19人
		2月19日(日) 「お部屋を飾るスワッグ作り」	安田交流センター	12人

成果・課題等

(成果) 新型コロナウイルスの感染拡大防止のために1講座を中止としましたが、昨年度よりも多くの講座が開催でき、コロナ禍においても感染症対策を実施したうえで円滑に事業が実施できました。  
(課題) はたちを祝う会事業では、実行委員の確保が非常に難航し、早めの事業運営が必要と感じました。

## 第2項 学校の地域連携に関すること

### 市教育振興基本計画

Ⅲ-1 地域の産業・文化・伝統の学びを通じた阿賀野市を愛する心の育成……(2) 地域学習の推進

Ⅲ-2 家庭・地域と連携した学校づくりの推進……(2) 家庭・地域との連携によるキャリア教育の推進

事業内容	成果等
<p>地域連携プログラムにより、学校と地域の連携した特色ある教育活動が行われ、地域との連携を図ります。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止のため、多くの人が集まる集会や講演会事業はできませんでしたが、地域単位での登下校の見守りやあいさつ運動などの一連の活動を中心として活動ができました。</p>	<p>学校と地域の連携した教育活動により地域との連携が図られました。</p> <p>○地域連携活動支援者数 小学校計 423人 中学校計 396人 計 819人</p>
<p>(課題) 感染対策を図りながら、支援者を増やし、地域と連携した教育活動をともに構築・充実していく必要があります。</p>	

### 第3項 青少年育成センターに関すること

市教育振興基本計画 Ⅲ-3-多様な体験活動や心豊かで思いやりのある健全な青少年の育成  
 …-(2)地域の教育力向上、-(3)健全な環境の整備

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
愛の呼びかけ 巡回指導	児童生徒や青少年を対象に、 非行行為の早期発見と非行防 止に取り組みました。 ○巡回指導 指導員3人～4人1組で昼 間・夜間に巡回し、呼びかけ を行いました。 ○指導員研修会	通年 (定期・特別)  11月30日(水)	市内  ふれあい会館	指導員38人 巡回回数 88回 呼びかけ数 1,848人 指導員26人
環境浄化	有害環境の点検・解消に向け た方策の検討や危険箇所・溜ま りの発見・解消を行いました。 ○青少年実態調査(アンケート)	11月	市内商店等	47施設に 調査実施
広報活動 「広報あがの」掲載	市民の青少年健全育成の関 心や意識を高めました。	年3回 (8・11・3月に掲載)	全市	—
標語コンクール	家庭や地域で、このコンク ールを話題に家庭について話し 合い、考える機会を持つことを 目的とし標語を募集します。 ○令和4年度標語募集テーマ 「家庭(うち)のルール:スマ ホ・携帯電話・メディア」	9月	小学校4～6 年生 中学校1～3 年生	小学生37点 中学生1点

#### 成果・課題等

(成果) 愛の巡回指導は、積極的に児童や生徒に声かけを行いました。屋外で遊ぶ子どもが少ない現状でした。  
 (課題) 標語コンクールは、応募数が減少しており、実施時期やテーマについて検討が必要です。

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
地域ふれあい クリーン作戦 <再掲> 主管:青少年育 成センター	一般市民を対象に、地域の 大人と子どもが面識を深めると ともに、安全で明るく健全な地 域づくりを行うため、自治会ご との清掃活動と併せ、危険箇所 の点検を行います。	4月17日(日)	各自治会	139自治会 4,686人

#### 成果・課題等

(成果) 昨年度よりも参加自治会及び参加者数は増加し、コロナ禍においても円滑に事業が実施できました。  
 (課題) 燃えるゴミの回収方法や不法投棄ゴミの対応について対策が必要です。

## 第4節 IV 安全・安心な教育環境づくりの推進（学校教育課）

### 第1項 安心して学べる学校づくりに関すること

#### 1. 教育相談員配置事業

市教育振興基本計画 IV-1 児童生徒が安心して学べる学校づくり…-(2)相談支援体制の充実

事業内容	成果等
<p>教育相談体制の充実・強化を図るため、教育センターに教育相談員 1 人を配置しました。</p> <p>保護者や児童生徒、教職員等からの教育に関する問題・悩みの相談に対してアドバイス等を行いました。</p>	<p>保護者や児童生徒等からの相談に対してアドバイス等を行い、解消が図られました。</p> <p>○相談日数： 50 日（毎週水曜）</p> <p>○相談件数： 160 件（R3:142 件）</p> <p>（内 訳）面接相談：76 件電話相談：35 件 その他：52 件</p> <p>（対象者別） 児童生徒に関するもの：29 件(18.1%)</p> <p>（内容別）不登校に関するもの：70 件 他、学業・進路、家庭に関するもの等</p>
<p>（課題）年間相談件数は増加しています。今後も継続した教育相談員配置が必要です。</p>	

#### 2. 防災教育・安全教育に関すること

市教育振興基本計画 IV-2 自分の命を守る防災教育等の充実

IV-3 安心・安全で快適な教育環境の整備充実-(2)通学環境の安全確保

事業内容	成果等
<p>防災教育プログラムを活用した防災教育並びに学校安全計画に基づく安全教育として、学校での避難訓練や引き取り訓練・防災の日の設定、非常食の試食、交通安全教室・通学指導などにより、防災・安全教育の定着と推進が図られました。</p>	<p>児童生徒の一人ひとり及び保護者の防災や安全に対する意識向上が図られ、命を守る教育の推進が図られました。</p>
<p>（課題）今後も継続して訓練等を行い、災害等に備える必要があります。</p>	

## 第2項 快適な教育環境・施設設備等の整備に関すること

### 1. 小中学校長寿命化等改修事業

市教育振興基本計画 IV-3-(1)安全・安心で快適な教育環境の整備・充実・施設整備と機能向上

事業内容	成果等
小中学校長寿命化等改修事業	笹神中学校の屋内体育館長寿命化改良工事、グラウンドの改修工事を行いました。
小中学校長寿命化等改修設計業務委託	令和6年度に行う京ヶ瀬小学校長寿命化改良工事の発注準備を進めました。
(課題) 施設の老朽化が進んでいます。 補助金等を活用し、計画的に施設整備や改修をすすめていく必要があります。	

### 2. 学校情報セキュリティ確保事業

市教育振興基本計画 IV-3-(1)安全・安心で快適な教育環境の整備・充実・施設整備と機能向上  
I-4-(2)グローバル化・ICT化対応した教育の推進・タブレット等積極的活用

事業内容	成果等
ウイルス対策サーバ機器一式入替 (賃貸借)	阿賀野市学校情報データセンターに設置するウイルス対策サーバ機器について使用期間5年の経過に伴い、入替を実施しました。
(課題) 今後も継続して安全な情報通信環境整備やセキュリティ対策を行う必要があります。	

## 第3項 学校等の環境衛生に関すること

### 1. 学校環境衛生定期検査の実施

市教育振興基本計画 IV-3-(1)安全・安心で快適な教育環境の整備・充実・施設整備と機能向上

検査名	検査時期
薬品等管理状況定期検査	5月～7月
学校給食衛生管理定期検査	5月～7月、9月～11月、1月～2月
水泳プール管理定期検査	6月～10月
飲料水及び排水管理定期検査	5月～6月、9月～11月
照度及び照明環境定期検査	6月～9月、10月～2月
教室等の空気定期検査	6月～9月、12月～2月
ダニまたはダニアレルゲン検査	6月～9月

※他に、新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒液を各校へ配布しました。

## 第4項 児童生徒の安全確保及び就学支援等に関すること

### 1. 学校の安全管理の取り組み

市教育振興基本計画 IV-3 安心・安全で快適な教育環境の整備充実…(2)通学環境の安全確保

事業内容	成果等
<p>阿賀野警察署と連携し、不審者情報を迅速に市内学校・幼稚園・関係各機関に伝達するとともに、共有体制を確立しています。</p> <p>市内企業や商工会、官公庁等から協力を得て、「ながらパトロール」「子どもSOS」を展開するほか、水原小学校の通学路について、阿賀野警察署及び道路管理者（市建設課及び新潟県）、学校等による点検を実施し、通学路の危険箇所について対策案を検討し、各部署から国へ対策箇所の要望を行い、安全対策の実施につなげました。</p> <p>小学1年生に対しての防犯ブザーの配布や、昨今の熊の出没に対して熊の出没が見込まれる地区の児童・生徒に対し熊除け鈴を配布しました。 自転車通学の中学生保護者に対してヘルメット購入経費の一部補助を行っています。</p>	<p>登下校時の交通事故や不審者による犯罪行為の未然防止を図りました。 不審者や熊出没情報は、連絡経路が整い、速やかに情報共有が図られました。</p> <p>○不審者情報提供 12 件 (R3 8 件) (R2 5 件)</p> <p>○防犯ブザーの配布 小学校 8 校：320 個</p> <p>○クマ鈴の配布 小学校 3 校：258 個 中学校 2 校：180 個</p> <p>○ヘルメット補助金交付人数 安田中学校：27 人 京ヶ瀬中学校：33 人 水原中学校：50 人 笹神中学校：31 人 ※自転車通学者ヘルメット装着義務付け</p>
<p>(課題) 不審者情報は令和4年度に12件寄せられました。防犯意識の高まりから件数が増えたと推察されます。今後もより防犯意識を高めていく必要があります。</p>	

### 2. 通学バス運行事業

市教育振興基本計画 IV-3 安心・安全で快適な教育環境の整備充実…(2)通学環境の安全確保

事業内容	成果等
<p>通年通学バスや冬季通学バスを運行しました。</p>	<p>通学距離が3km以上（冬季は1.8km以上）の児童生徒に対し、通学バスを運行することで、児童生徒の利便性と登下校の安全が確保されました。</p>
<p>(課題) 今後も継続して安全対策・感染対策を行い運行する必要があります。</p>	
<p>遠距離児童及び生徒通学費補助金を交付しました。</p>	<p>通学距離が1.8km以上3km未満の児童生徒を対象に、通学に係る経費の補助を行なうことで、保護者の負担軽減と登下校の安全が確保されました。 また、冬季通学バス有償運行地区の就学援助受給者に対し、負担金を免除しました。</p>
<p>(課題) 今後も継続して経費補助をする必要があります。</p>	

<参考> 通年通学バス利用者数

学校名	方面	人数	備考
安田小学校	大和	55人	
	寺社	52人	
	新保	10人	登下校市営バス
	小松	21人	
	久保	31人	
	丸山	11人	
	庵地	31人	
京ヶ瀬小学校	駒林	34人	
	下里	30人	
	嘉瀬島	50人	
	法柳	11人	
堀越小学校	中潟	18人	
水原小学校	天神堂	16人	
笹岡小学校	大室	38人	
	出湯	39人	
	明倫	27人	
神山小学校	村岡	11人	登下校市営バス
水原中学校	分田	49人	
合計		534人	

<参考> 冬季通学バス利用者数

学校名	方面	人数	備考
安田小学校	南郷砂山	11人	登下校市営バス(有償)
京ヶ瀬小学校	金淵・下黒瀬	14人	全部有償運行
笹岡小学校	須走	11人	登下校市営バス(有償)
神山小学校	中ノ通	14人	全部有償運行
	本明	22人	全部有償運行
安田中学校	大和・新保	32人	登校市営バス等(一部有償)
	寺社	16人	登校市営バス(有償)
	山手	23人	登校市営バス等(一部有償)
	小松	5人	路線バス定期券支給
京ヶ瀬中学校	嘉瀬島	16人	一部有償運行
	月崎	12人	一部有償運行
	駒林	16人	
	下黒瀬・法柳・金淵	19人	一部有償運行
水原中学校	天神堂・千原	10人	登校市営バス等(一部有償)
	原・里等	13人	一部有償運行
	山口	22人	登下校市営バス等(有償)

	中潟	0人	登下校市営バス（有償）
	堀越	6人	※臨時バス費（路線バス有償定期券補助）
	越御堂	0人	
笹神中学校	大室	33人	一部有償運行
	出湯・明倫	13人	登校市営バス（一部有償）
	中ノ通	21人	
	村岡	20人	一部有償運行
	上飯塚	15人	
合 計		364人	

<参 考> 遠距離児童及び生徒通学費補助金（冬季通学バス利用者数と重複）

補助申請自治会名	学校名	対象者数	補助額
堀越	水原中学校	6人	64,430円
下黒瀬	京ヶ瀬中学校	-	-

市冬季バス運行計画の路線バスを利用した際の補助

### 3. 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業

市教育振興基本計画 IV-3 安心・安全で快適な教育環境の整備充実…(3)経済的負担の軽減

事業内容	成果・課題等
<p>生活困窮世帯における児童生徒の保護者に就学援助費を支給しました〔学用品費・給食費・医療費・校外活動費・修学旅行費・新入学学用品費（入学前支給）部活動費（初期費用）等〕。</p> <p>令和2年度から市独自の援助として、学用教材費（インフルエンザ予防接種相当及び基本学用品相当分）を項目に追加しました。</p>	<p>生活困窮している保護者の経済的負担の軽減が図られました。</p> <p>○支給額 小学校：20,863,987円 中学校：18,011,966円 合 計：38,875,953円</p> <p>○対象者数 小学校：226人 中学校：128人</p> <p>・令和4年度は、市助成のインフルエンザ予防接種分を除く基本学用品相当分を小学校1,2,4年生(93人)に、中学校1年生(40人)に支給</p>
<p>（課題）今後も継続した周知と必要な保護者への給付（支援）が必要です。</p>	

### 4. 特別支援教育就学奨励事業

市教育振興基本計画 IV-3-(3)安心・安全で快適な教育環境の整備充実…経済的負担の軽減

事業内容	成果・課題等
<p>特別支援教育を受けている障がいがある児童生徒の保護者等に就学奨励費を支給しました。</p>	<p>特別支援教育を受けている児童生徒の保護者等の経済的負担軽減が図られました。</p> <p>○支給額 小学校：2,581,014円 中学校 1,682,525円 合 計：4,263,539円</p> <p>○対象者数 小学校：72人 中学校：26人</p>
<p>（課題）今後も継続した周知と必要な保護者への給付（支援）が必要です。</p>	

## 5. 奨学金貸付事業

市教育振興基本計画 IV-3-(3)安心・安全で快適な教育環境の整備充実・経済的負担の軽減

事業内容	成果・課題等
経済的に就学が困難な学生に貸し付けを行いました。	<p>経済的に就学が困難な学生に対して、教育の機会均等などが図られました。基金に 3000 万円を積み立て、令和 4 年度貸付分より貸付金額の拡充を行いました。</p> <p>○新規貸付者 : 46 人・41,020,000 円</p> <p>○継続貸付者 : 78 人・36,060,000 円</p> <p>○先行貸付者(R5 分) : 18 人・18,100,000 円</p> <p>○奨学貸付基金残高: 482,419,875 円</p>
	<p>(課題) 生活環境の変化等で返済が困難となり、連絡等もなく滞納する事例が見受けられます。円滑な基金運営のため、これら滞納の早期完済に向けた取り組みの強化が必要です。</p> <p>(令和 4 年度末現在の滞納額) ○滞納者: 17 人・8,055,100 円</p> <p>※令和 3 年度末比: 1,886,600 円減</p>

## 6. 地域子ども・子育て支援事業費

市教育振興基本計画 I-1-(3)確かな学力の育成・豊かな学びの基礎を培う幼児教育の充実  
IV-3-(3)安心・安全で快適な教育環境の整備充実・経済的負担の軽減

事業内容	成果等
公立園の一時預かりを利用した保護者(新2号)へ、申請により施設等利用給付(無償対象の利用料)を給付しました。	<p>保護者の経済的負担軽減が図られました。</p> <p>(施設等利用給付費給付額)</p> <p>安田幼稚園 3,400 円</p> <p>京ヶ瀬幼稚園 43,200 円</p>
	(課題) 今後も制度による継続した給付が必要です。

## 7. 「新潟県立駒林特別支援学校」通学費補助事業

市教育振興基本計画 IV-3-(3)安心・安全で快適な教育環境の整備充実・経済的負担の軽減

事業内容	成果・課題等
県立駒林特別支援学校に在学する児童生徒の保護者の負担軽減を図るため、保護者団体が送迎バスを自主運行した場合の経費の一部を補助しました。	<p>利用児童生徒の利便性や登下校の安全確保、保護者の経済的な負担軽減が図られました。</p> <p>○補助金額: 1,799,498 円</p>
	(課題) 今後も継続した支援が必要です。

## 第3章 総括（まとめ）

---

教育委員会では、令和4年度の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検並びに評価を行うため、事務局と共に議論を重ねてきました。評価報告書の充実を図るとともに、教育委員の生の声を伝えたいと考え、8月31日（木）に懇談会を開催しました。前水原小学校長の佐藤元彦様には、学識経験者としてご出席を賜り、貴重な助言をいただきました。これらを通じて提起された課題や今後の方向性について、要旨として掲載し、更に4人の教育委員と教育長の所感を追記し、令和4年度の報告書の総括（まとめ）とします。



学識経験者  
佐藤元彦 様

### 懇談要旨

---

とき 令和5年8月31日  
ところ 笹神支所「委員会室1」

- 出席者：教育長、教育委員4人、学識経験者（佐藤元彦様：前水原小学校長）、羽田学校教育課長、塚野生涯学習課長、阿部管理指導主事、清水教育センター長
- テーマ：「学校教育上の諸課題への対応とふるさとを愛し未来を切り拓いていく人を育てる教育の具現について」
- 懇談要旨
  - 評価報告書は、市教育振興基本計画に基づいた事務ごとに評価し、計画・方針を初めに掲載するべきではないか。
  - 評価の全体が見えない。指標等を全体にまとめ、最初に結論を掲載したほうがわかり易い。また、指標の説明が必要である。
  - 評価が市民からするとわかりにくい。市民の代表である議会に公表・報告するならば、計画の4つの基本方針に基づく評価、構成内容にするとよいのではないか。
  - 報告書はこれまでも修正されている。今までの事務が改善なのかどうか、わかる報告になるとよい。

## 教育委員による所感

---

### 教育長職務代理者 渡 邊 栄 二



令和4年、昨年度に続く感染症－新型コロナウイルス－で、学年・学級閉鎖、臨時休業までありました。

さて今年度、私の所感「心に感じた事」。

児童数の減少により統合～分田小学校が堀越小学校へ統合し、分田地区においては、とても寂しいことだと思います。それでも、地域住民、保護者、先生、生徒による閉校記念行事が実施され、私たち出席者一同が感銘いたす式典でした。とても良かったです。

もう一つ、園児の減少により閉園～安田幼稚園です。毎年、保護者、教員と関係者で入園児を確保してきましたが、近年の核家族化により、3才児からの受け入れよりも、0才児からの預かり保育が出来る「認定こども園」を選ぶ家庭が増えてきたことが要因でしょう。それにしても閉園記念式典はすばらしかったです。特に、園児の言葉はとても5才児とは思えない出来で、これもある意味、幼稚園教育のすばらしさと感銘いたしました。

この2つが令和4年度教育の一番の大きな出来事だと思います。

次に、出来事ではないのですが、生徒指導における、いじめ、不登校が多いことです。

いじめに対しては定義がより鮮明になり、発見が早くなり、先生方が生徒への目配りをしている結果だと思います。不登校は、本人、家庭、学級環境などいろいろな要因があり大変難しいところです。

他に、生徒で気になることが、学力の低下です。コロナ禍が、またそれ以上に学習指導をする先生方が業務の多忙で、いじめ、不登校、保護者などの態様の変化、また、支援の必要な生徒も年々増加傾向などで学習指導を改善しようとする考えが出来ないのではないかと。

解決には、生徒、保護者、学校との間に相談窓口が必要ではないでしょうか、それもいち早く話が出来る学校に配置を求めたい。

今後も、顔の見える活動を重視していきます。

## 教育委員 酒井 里佳子



令和4年3月31日をもって、分田小学校と安田幼稚園が、それぞれ閉校、閉園となりました。分田小学校は138年、安田幼稚園は58年と長い歴史に幕を閉じることとなりました。

分田小学校では、閉校までの間、統合先となる堀越小学校の子どもたちと何度も交流活動を行い、統合後に子どもたちの学校生活への不安が少なくなるような配慮がなされました。

令和4年12月4日に举行された閉校記念式典では、来賓、歴代の校長先生方や旧職員の先生方、保護者、地域の方々、現教職員参列の中、伝統芸能分田神楽の演舞が披露され、子どもたちの1年間の記録をまとめた記念動画が上映されました。また、全校児童42名と参列者の校歌が体育館に響き渡りました。

地域のコミュニティの中心となっていた学校がなくなるのは残念なことです。引き続き分田地域と各家庭、統合後の堀越小学校との連携が子どもたちのためにも重要になると考えます。分田小学校や安田幼稚園の子どもたちが、これまで育んできた思い出を胸に、新たな場所でさらに成長してくれることを願っております。

令和4年度は、新型コロナウイルスによる教育活動への影響がまだ残る一年でした。

子どもたちの心身の不調による不登校傾向、家庭環境の複雑化、トラブルなど日々問題が山積している中で、教員の働き方改革が重要となっています。

日々の業務もたくさんある中で、先生方が、子どもたちの心に寄り添い、信頼関係を築くべく、休み時間も教室にいて子どもたちの声に耳を傾ける、下校の時間に玄関に出て手を振って見送る、忙しい合間を縫って歌やピアノの練習をして、合唱コンクールで生徒たちに歌を贈る、毎週生徒たちに向けたクラス便りを書く等、労力を惜しまず奮闘されているのを、目の当たりにしております。

少しでも先生方の業務負担を軽減するため、ICTの活用や部活動の地域移行などがありますが、そのためには地域の方の協力と行政からの支援が今まで以上に必要となってきます。

子どもたちが、明日もまた行きたくなる学校になるよう、そして、市民の皆さんに教育により関心を持っていただけるよう、学校、家庭、地域、行政が連携することが大切であると考えます。

教育委員 中野 稔



新型コロナウイルスが発生してから三年目となり、感染対策に大きな負担を余儀なくされる中、運動会等の学校行事も対策を講じて徐々に実施できるようになってきました。

これはひとえに教職員の努力があつてのことと思ひ、深く感謝申し上げます。

また、児童生徒が、様々な制約の中でも柔軟に対応して学校生活を送っていることに、子どもたちの中にある力強さが感じられ頼もしく思っています。

教職員の働き方改革について、タブレット端末を利用した負担軽減や、部活動の外部への移行等様々な負担軽減策が講じられていますが、特効薬は人員増が最も有効と考えます。

教員本来の仕事である「児童生徒に勉強を教えること」「一人ひとりの悩みや心配事に耳を傾けて助言や指導をすること」等に集中できる職場環境を整えることが大切だと思います。いじめや不登校に対する、児童生徒や家庭との対応に専門的な知識を持った職員を配置することができれば、かなりの負担が軽減されると思います。財政の厳しい中ではありますが、国の将来を担う子どもたちへの投資と考え、行政の力添えをお願いしたいものです。

子どもたちが学校へ行くことが楽しいと思えるように、家庭、地域、行政、学校が共に知恵を出し合い協力しなければならないと思います。

学校は学びの場として、また、友達関係を通して成長する大切な場です。将来に夢を持ち、夢に向かって地道に努力を重ねて大きな夢を実現してもらいたいと思います。

子どもたちが様々な制約や困難を克服して、心豊かにたくましく成長し、阿賀野市の明るい未来を担っていく人材になることを願っています。

## 教育委員 小川 寛子



令和5年5月22日付けで教育委員を拝命いたしました、笹神地区発久の小川寛子と申します。生まれも育ちも嫁いだ先も笹神地区ですので生粋の笹神人（阿賀野市人）です。

振り返りますと、47年前に生まれた時（生まれた当時は笹神村ですが）から現在まで、この地域の子育て支援や学校教育、社会教育の中で育てていただき、今の私が存在している訳です。

47年間この土地で生まれ育った私が教育委員を拝命して数か月余り。当たり前の生活は、多くの支えがあり、多くのしくみによって成り立っているものと改めて感じているところです。また、阿賀野市教育委員会においては、阿賀野市教育の基本理念の下、教育大綱や教育振興基本計画が策定され、基本理念の具現化に向けて様々な取り組みや活動が実施されていることを知りました。さらに、教育委員会は学校教育だけでなく、成人教育や家庭教育、高齢者教育などの社会教育の分野でも、より充実した教育施策の実施に取り組んでいることも分かりました。

令和4年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」により、阿賀野市の教育の現状から、その課題と対応を見ることができます。私が生まれ育った当時の環境と現在の環境は変化しています。地域を取り巻く環境が大きく変化し、その変化はこの先もとどまることはありません。このように目まぐるしく変化する、社会環境の中で育つ子どもたちへの対応は、当然のことですが、「いま」が重要です。

今現在、阿賀野市が提供する教育活動の全てが、阿賀野市教育の基本理念【ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育】を実現させるための手段となり得るよう、この基本理念を念頭に置きながら、教育委員としてこれからの4年間、微力ではありますが努めさせていただきます。

所感というより所信表明のようになりましたが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 教育長 神田 武司



年度末の感染拡大が4月に入っても収まらず、4月13日には、新潟県で新型コロナウイルスの新規感染者が、過去最多の907人となり、始業式及び入学式を延期した小学校もありました。6月になり感染も落ち着きを見せ始め、小学校6年生の修学旅行は、市内全小学校が計画通りに実施できました。昨年度、中止していたプールでの水泳指導は、密を避けて3年ぶりに実施できました。

しばらくして感染の第8波が到来し、11月のピーク時では、幼児・児童・生徒の1か月の新規陽性者数は、220人にもなりましたが、その後は減少に転じ、3月には1か月で21人にまで減少。令和5年5月8日には新型コロナウイルス感染症は、2類感染症から5類感染症に引き下げられました。おかげで、中学校2年生の関東・関西方面への修学旅行は3校が計画通り実施でき、1校は次年度の5月に県内思い出旅行ができました。

令和3年度の休校、学年・学級閉鎖が幼・小・中学校で52件であったのに対して、令和4年度は、126件と2.4倍にもなり、子どもたちの生活環境に大きな影響を与えたものと考えます。その現れの一つが不登校児童生徒の増加です。令和3年度小中学校の合計が75人で12人の増加でしたが、令和4年度では94人と19人も増加しました。全国的な傾向とはいえ、学びが継続できるよう学びの場を準備するとともに、自立した生活ができるよう支援を強化していきます。

学校・園の統廃合については、分田小学校が令和4年12月4日、閉校記念式典を挙行し創立138年の歴史に、また安田幼稚園においては令和5年3月5日に閉園記念式典を挙行し57年間の歴史に、それぞれ幕を下ろしました。

施設整備関係では、安田中学校職員トイレ改修、笹神中学校体育館・グラウンド改修、京ヶ瀬幼稚園調理員用トイレ改修、京ヶ瀬小学校体育館照明改修、安野小学校駐車場舗装改修等を行いました。

最後に、8月5日に待望の「道の駅あがの」がオープン。10月6日にはグランドオープンを迎え、引き続き12月4日には国道49号水原バイパスの百津から下黒瀬までの5.4kmが開通しました。



**令和4年度**

**教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価報告書**

**令和5年9月**

**編集・発行：阿賀野市教育委員会**

**本報告書についての問い合わせ先**

**〒959-1919 新潟県阿賀野市山崎77番地**

**学校教育課 ☎：0250-62-2790 Fax：0250-63-2115**

**E-mail：gakkokyoiku@city.agano.niigata.jp**

**生涯学習課 ☎：0250-62-5322 Fax：0250-63-2115**

**E-mail：syogaigakusyu@city.agano.niigata.jp**